

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-5

< 第36週 > A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は
3週連続で増加した / その他最新動向



注目すべき感染症
P.6-9

< インフルエンザ >
定点当たり報告数は第28週以降増加が続いており、第36週は2.62
となり、2週連続して小さな増加にとどまった



病原体情報
P.10-14

インフルエンザウイルス 2009年5～9月 / ヒトから検出されている
Vero毒素産生性大腸菌 2009年



速報
P.15-16

脳梁膨大部に一過性病変を認めた新型インフルエンザ脳症の1例
について - 栃木県



海外感染症情報
P.17-19

パンデミックインフルエンザ(H1N1)2009 - 検査診断例の公式報
告数 / パンデミック(H1N1)2009 短報: no.9 - 第二波への準
備: 現在のアウトブレイクから学ぶこと



感染症の話
P.20

< 今週はお休みです >



読者のコーナー
< 今週は該当記事は
ありません >



グラフ総覧(36週)
P.21-26



36週のデータ
P.27-39



発生動向総覧

< 第36週コメント > 9月9日集計分

全数報告の感染症

注意: これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が集計の期日以降に届くこともあります。それらについては一部を除いて発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることになります。

感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを示します。

1類感染症

報告なし

2類感染症

結核262例

3類感染症

細菌性赤痢1例 感染地域: フィリピン

腸管出血性大腸菌感染症170例(有症者120例、うちHUS 6例、死亡1例)

感染地域: 国内169例、韓国1例

国内の多い感染地域: 福岡県14例、兵庫県10例、東京都9例、大阪府9例、群馬県8例、埼玉県8例、千葉県8例、愛知県6例、奈良県6例、山形県5例、石川県5例、広島県5例

年齢群: 0歳(2例)、1歳(9例)、2歳(17例)、3歳(7例)、4歳(5例)、5歳(11例)、6歳(6例)、7歳(9例)、8歳(3例)、9歳(5例)、10代(28例)、20代(23例)、30代(12例)、40代(9例)、50代(4例)、60代(10例)、70代(5例)、80代(4例)、90代(1例)

血清型・毒素型: O157 VT1・VT2(72例)、O157 VT2(38例)、O26 VT1(28例)、O157 VT不明(7例)、O157 VT1(5例)、O111 VT1(4例)、O103 VT1(2例)、O111 VT2(1例)、O1 VT1(1例)、O1 VT2(1例)、O91 VT1(1例)、O121 VT2(1例)、O145 VT1(1例)、O165 VT1・VT2(1例)、O165 VT2(1例)、その他・不明(6例)

累積報告数: 2,499例(有症者1,698例、うちHUS 45例、死亡2例)

4類感染症

A型肝炎3例

感染地域: パキスタン1例、ウズベキスタン1例、エジプト1例

デング熱1例

感染地域: マリ

日本紅斑熱4例

感染地域: 三重県1例、和歌山県1例、広島県1例、高知県1例

レジオネラ症10例(肺炎型10例)

感染地域: 宮城県1例、秋田県1例、埼玉県1例、東京都1例(温泉)、神奈川県1例、岐阜県1例(温泉)、兵庫県1例、熊本県1例、国内(都道府県不明)2例(うち1例が温泉)

年齢群: 50代(3例)、60代(3例)、70代(3例)、80代(1例)

5類感染症

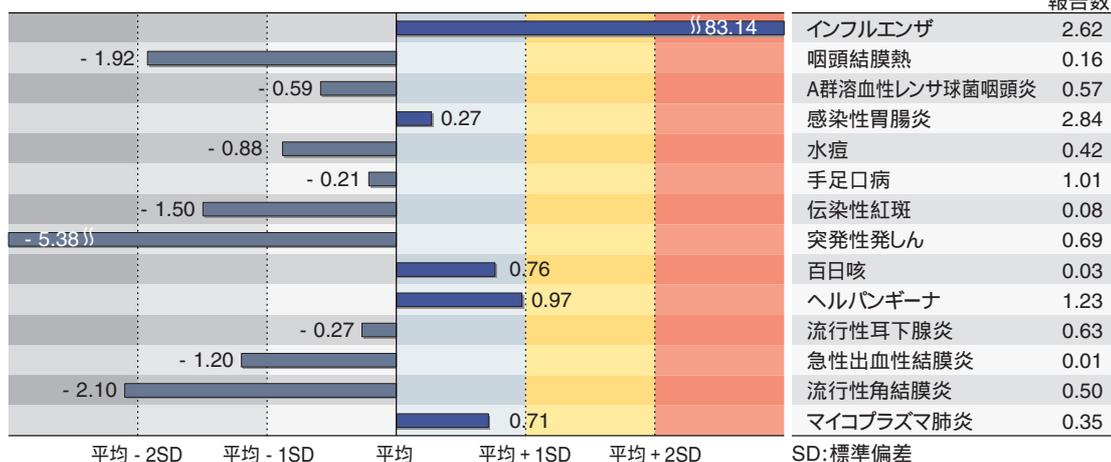
- アメーバ赤痢7例(腸管アメーバ症7例)
 感染地域: 神奈川県1例、大阪府1例、兵庫県1例、大分県1例、国内(都道府県不明)1例、メキシコ1例、国外(国不明)1例
 感染経路: 経口感染2例、性的接触2例(異性間1例、同性間1例)、不明3例
- ウイルス性肝炎2例 B型1例__感染経路: 性的接触(異性間)
 C型1例__感染経路: 不明
- 急性脳炎4例 インフルエンザウイルスAH1pdm 3例__年齢群: 7歳(2例)、9歳(1例)
 病原体不明1例__年齢群: 3歳
- 劇症型溶血性レンサ球菌感染症2例
 年齢群: 30代(1例 . 死亡)、70代(1例 . 死亡)
- 後天性免疫不全症候群7例(AIDS 2例、無症候4例、その他1例)
 感染地域: 国内7例
 感染経路: 性的接触7例(異性間2例、同性間5例)
- 先天性風しん症候群1例(その他)
 感染地域: フィリピン
- 梅毒7例(早期顕症I期2例、早期顕症II期3例、無症候2例)
- 破傷風3例 年齢群: 50代(1例)、70代(1例)、90代(1例)
- バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例
 遺伝子型: 不明1例__菌検出検体: 尿
- 風しん1例(検査診断例)
 感染地域: 福岡県
 年齢群: 40代
- 麻しん6例[麻しん(検査診断例4例、臨床診断例1例)、修飾麻しん(検査診断例)1例]
 感染地域: 国内6例
 国内の感染地域: 茨城県1例、栃木県1例、長野県1例、愛媛県1例、鹿児島県1例、国内(都道府県不明)1例
 年齢群: 1歳(1例)、2歳(2例)、3歳(1例)、5~9歳(1例)、40代(1例)
 累積報告数: 604例[麻しん(検査診断例189例、臨床診断例254例)、修飾麻しん(検査診断例161例)]

(補)他にA型肝炎1例の報告があったが削除予定。また、2009年第35週までに診断されたものの報告遅れとして、腸チフス1例(感染地域: インドネシア)、E型肝炎1例[感染地域(感染源): 北海道(不明)]、エキノコックス症1例(多包糸虫__感染地域: 北海道)、デング熱2例(感染地域: インド1例、フィリピン1例)、日本紅斑熱1例(感染地域: 和歌山県)、レジオネラ症2例[感染地域: 愛媛県2例(とみに温泉)]、急性脳炎3例[ヒトヘルペスウイルス6型1例(1歳)、インフルエンザウイルスAH1pdm 1例(8歳)、病原体不明1例(0歳)]、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例(60代)などの報告があった。

定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関(定点)から報告され、疾患により小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

定点把握疾患の報告の過去5年間の同時期との比較(第36週)



当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)との差をグラフ上に表現した。

インフルエンザ

定点当たり報告数は第28週以降増加が続いており、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多い。都道府県別では沖縄県(22.66)、大阪府(4.26)、宮城県(3.85)、東京都(3.66)、福岡県(3.58)、北海道(3.53)、京都府(3.19)、千葉県(3.00)、高知県(2.81)、長崎県(2.73)が多い。

小児科定点報告疾患

RSウイルス感染症の報告数は452例と第29週以降増加が続いている。年齢別では、1歳以下の報告数が全体の約77%を占めている。

咽頭結膜熱の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別では福岡県(0.51)、滋賀県(0.35)、高知県(0.33)が多い。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は3週連続で増加した。都道府県別では北海道(1.35)、山形県(1.10)、山口県(1.10)が多い。

感染性胃腸炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では大分県(6.1)、宮城県(5.7)、鳥取県(5.0)が多い。

水痘の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別では宮城県(1.19)、和歌山県(0.87)、福岡県(0.75)が多い。

手足口病の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別では佐賀県(4.2)、青森県(3.1)、宮城県(2.6)、長崎県(2.6)が多い。

伝染性紅斑の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別では佐賀県(0.30)、神奈川県(0.27)、東京都(0.19)、宮城県(0.19)が多い。

百日咳の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では高知県(0.17)、広島県(0.14)、宮城県(0.11)が多い。

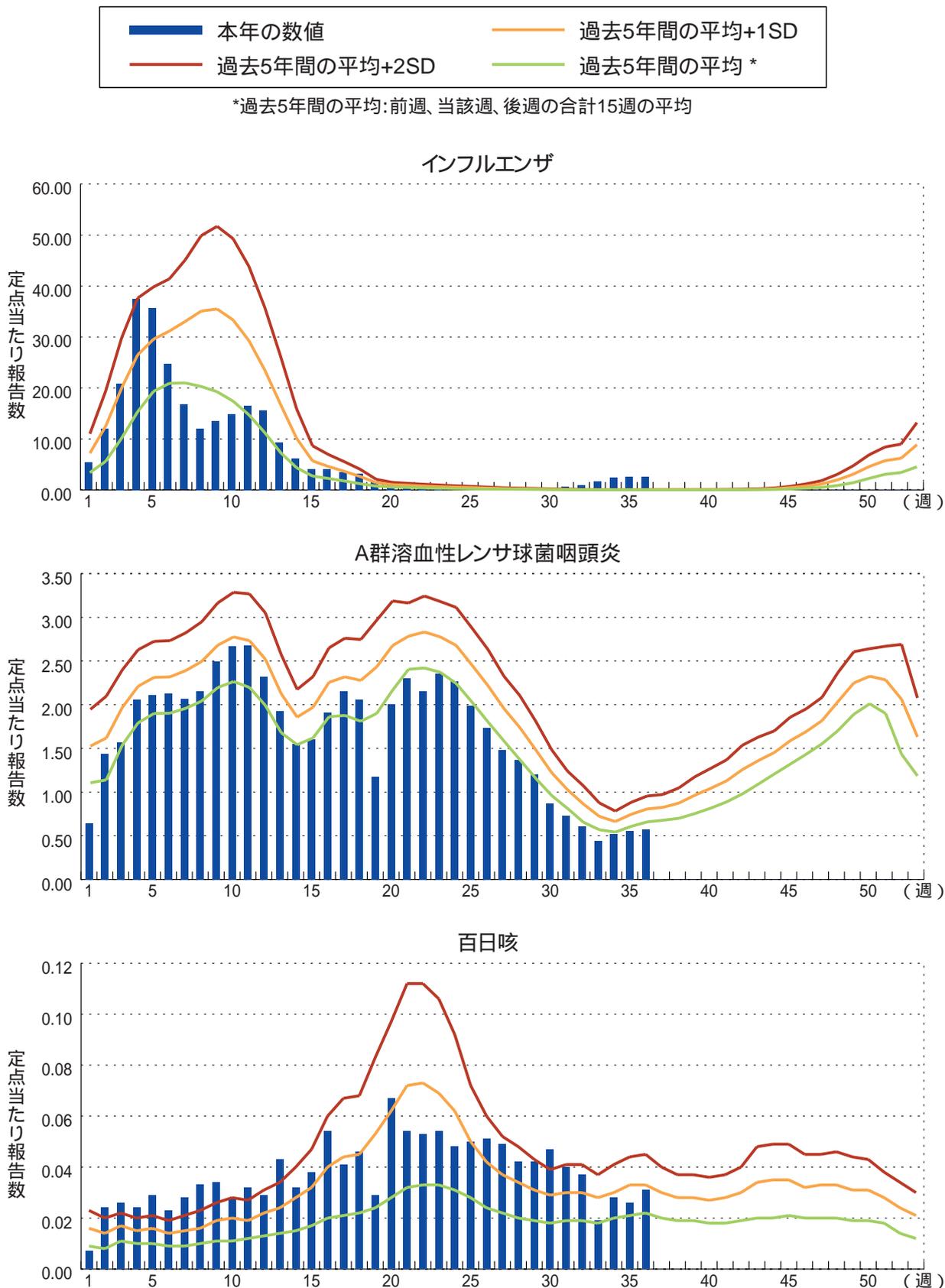
ヘルパンギーナの定点当たり報告数は第32週以降減少が続いている。都道府県別では福井県(4.2)、長野県(3.4)、石川県(3.2)、香川県(3.2)が多い。

流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別では福井県(2.36)、沖縄県(1.65)、山形県(1.63)が多い。

基幹定点報告疾患

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では沖縄県(2.00)、富山県(1.80)、福島県(1.29)が多い。

図. 主要定点把握疾患の過去5年間との週別比較(2009年第1 ~ 36週)
 青のバーで示す本年の定点当たり報告数が赤のラインを超えているときには、過去5年間の週と比較してかなり多いことを示す。





注目すべき感染症

インフルエンザ

インフルエンザ(Influenza)は、インフルエンザウイルスを病原体とする急性の呼吸器感染症で、毎年世界中で流行がみられている。従来、ヒトからヒトに感染して臨床的に問題となっていた季節性インフルエンザの原因ウイルスとしてはAソ連型(A/H1N1亜型)、A香港型(A/H3N2亜型)、B型の3種類があった。2009年4月にその存在が明らかとなった新型インフルエンザA/H1N1の臨床像は、従来の季節性インフルエンザとほぼ同様であり、その感染経路も季節性インフルエンザと同様に飛沫感染が主体であり、一部には接触感染があると考えられている(感染症情報センターホームページ: http://idsc.nih.go.jp/disease/swine_influenza/2009idsc/infection_control_0901.html 参照)。

感染症発生動向調査では、全国約4,800カ所のインフルエンザ定点からの報告に基づいてインフルエンザの発生動向を分析している。本サーベイランスは原則的に臨床診断によるものであり、最近の国内のインフルエンザウイルス検出状況を考慮すれば、現在報告されているインフルエンザ患者発生の殆どは新型インフルエンザによるものと推定される。

感染症発生動向調査によると、インフルエンザの定点当たり報告数は、2009年第28週以降増加が続いており、第36週は2.62(報告数12,515)となり、2週連続して小さな増加にとどまった(図1)。定点医療機関からの報告数をもとに、定点以外を含む全国の医療機関を1週間に受診した患者数を推計すると、約15万人となった。都道府県別では沖縄県(22.66)、大阪府(4.26)、宮城県(3.85)、東京都(3.66)、福岡県(3.58)、北海道(3.53)、京都府(3.19)、千葉県(3.00)、高知県(2.81)、長崎県(2.73)の順となっており、青森県、岡山県、山口県、愛媛県を除く43都道府県で定点当たり報告数が1.00を超えている(図2)。また、47都道府県の399保健所地域で定点当たり報告数が1.00を超えている。

図1. インフルエンザの年別・週別発生状況(1999 ~ 2009年第36週)

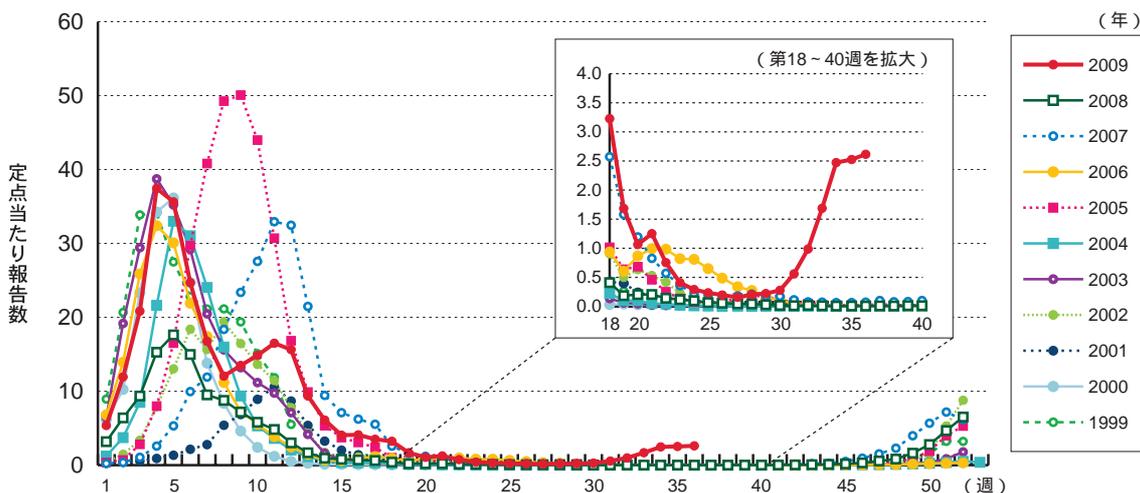
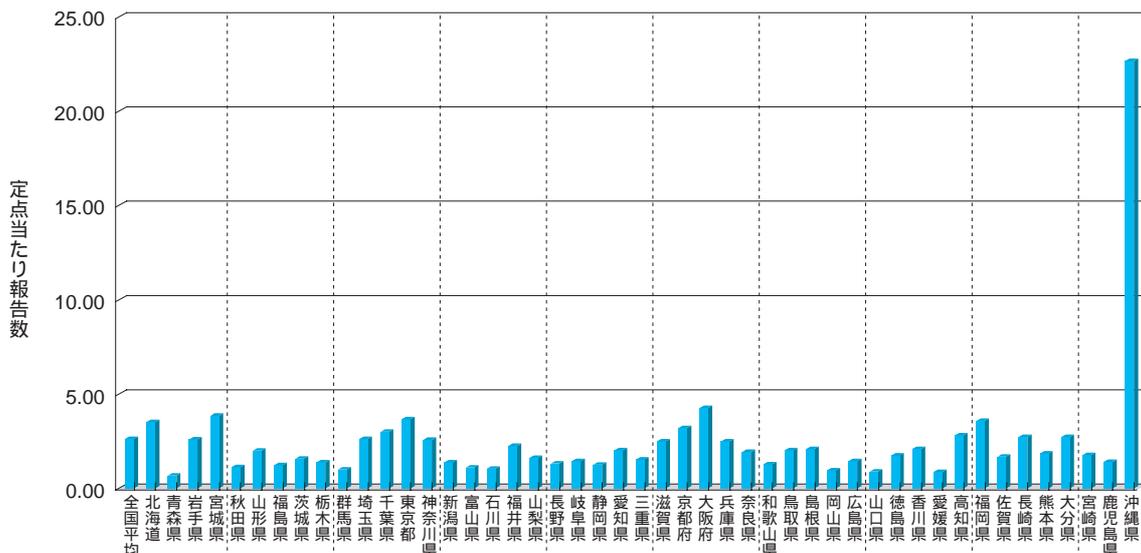
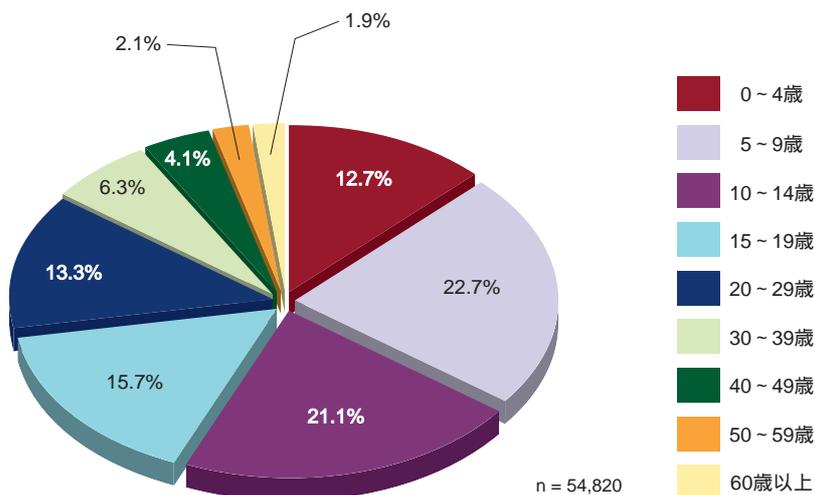


図2. インフルエンザの都道府県別報告状況(2009年第36週)



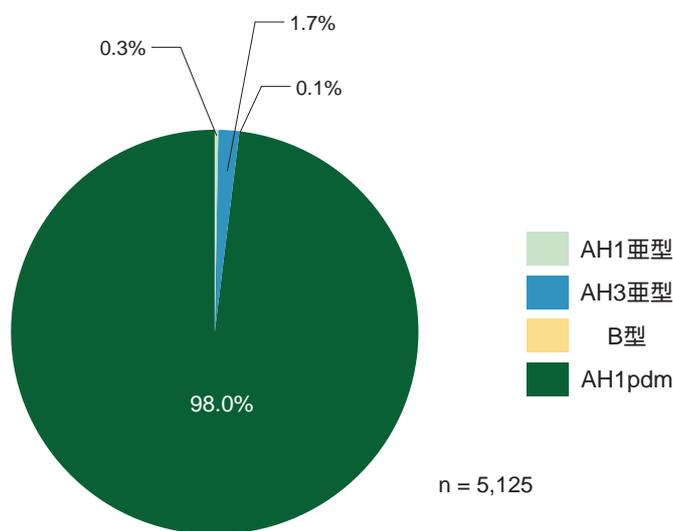
患者報告数が継続的に増加し始めた第28週以降第36週までの定点当たり累積報告数は11.87 (累積報告数54,820)であり、年齢群別では5～9歳12,457例(22.7%)、10～14歳11,575例(21.1%)、15～19歳8,620例(15.7%)、20～29歳7,269例(13.3%)、0～4歳6,973例(12.7%)の順となっている。5～14歳の年齢群の報告数の割合が増加してきており、20歳以上の年齢群の割合が減少してきている(図3)。

図3. インフルエンザ累積報告数の年齢群別割合(2009年第28～36週)



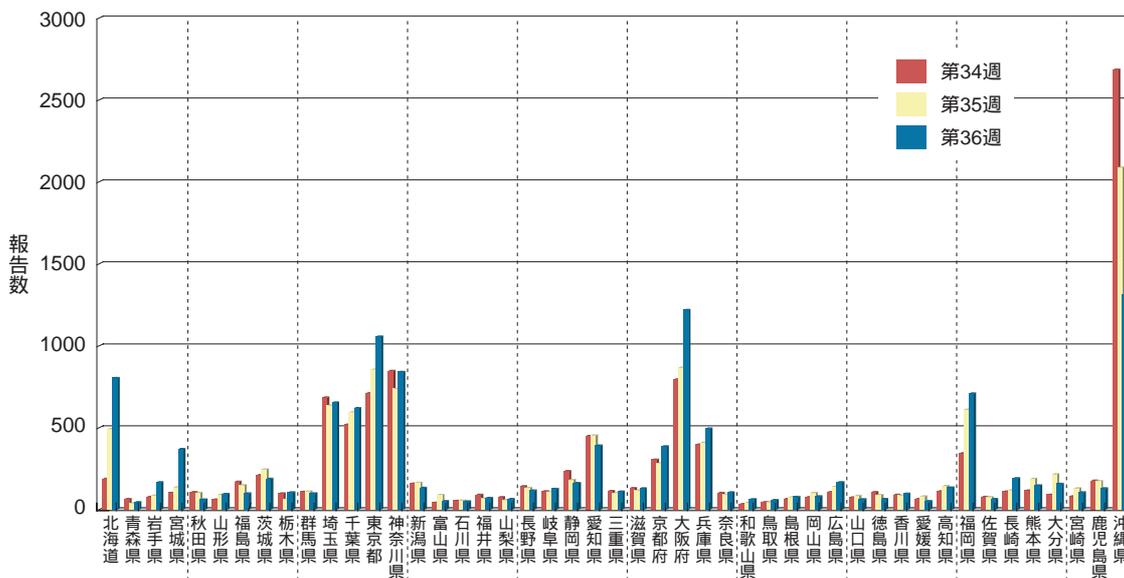
日本で新型インフルエンザウイルスAH1pdmが検出された2009年第19週以降36週までに7,267件のインフルエンザウイルスの検出が報告されており、そのうちAH1pdmは6,288件(86.5%)を占めている。また、特に患者報告数が増加し始めた第28週以降では、第36週までに5,125件のインフルエンザウイルスの検出が報告されており、AH1亜型(Aソ連型)15件(0.3%)、AH3亜型(A香港型)86件(1.7%)、B型4件(0.1%)、AH1pdm(新型インフルエンザウイルス)5,020件(98.0%)とインフルエンザウイルスの検出報告数の大半をAH1pdmが占めており、現在国内で発生しているインフルエンザの殆どは新型インフルエンザによるものと推定される(図4および感染症情報センターホームページ: <http://idsc.nih.go.jp/iasr/prompt/graph/sinin1.gif> 参照)。

図4. インフルエンザウイルス検出割合報告(2009年第28 ~ 36週)
(病原微生物検出情報: 2009年9月10日現在報告数)



沖縄県の報告数は減少が続いているが、北海道、宮城県、首都圏、京阪神、福岡県等、人口の密集している地域においては報告数の増加が目立ってきている(図5)。国内の大半の学校等において夏季休暇が終了したことから、今後国内の多くの地域で新型インフルエンザの流行が増大する可能性がある。

図5 インフルエンザの都道府県別報告数の推移(2009年第34 ~ 36週)



これまでのインフルエンザ・パンデミックの例をみても、新型インフルエンザの流行は、国民の多くが感染し免疫を保有するに至るまでは繰り返されるものと考えられる。また、現時点においては、いまだ殆どの国民が感受性者であることから、たとえ秋季の流行であっても、その規模は従来の冬季における季節性インフルエンザの流行よりも大きくなる可能性があることを考慮しておくべきである。従って、本格的な流行となった場合に、現在の医療体制を維持し、国民に対して医療サービスを提供し続けることが大きな課題であり、また、流行規模の増大に伴って、心疾患、呼吸器疾患、腎疾患、糖尿病等の慢性疾患患者、妊婦、乳幼児、高齢者等のいわゆるインフルエンザの罹患による重症化が予想される者に対する注意と対策に関する準備も急務であると思われる。新型インフルエンザを含めたインフルエンザの発生動向には今後とも警戒が必要である。



病原体情報

* グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。

各都道府県市の地方衛生研究所(地研)からの検出報告です。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

(2009年9月10日現在報告分)

インフルエンザウイルス 2009年5 ~ 9月

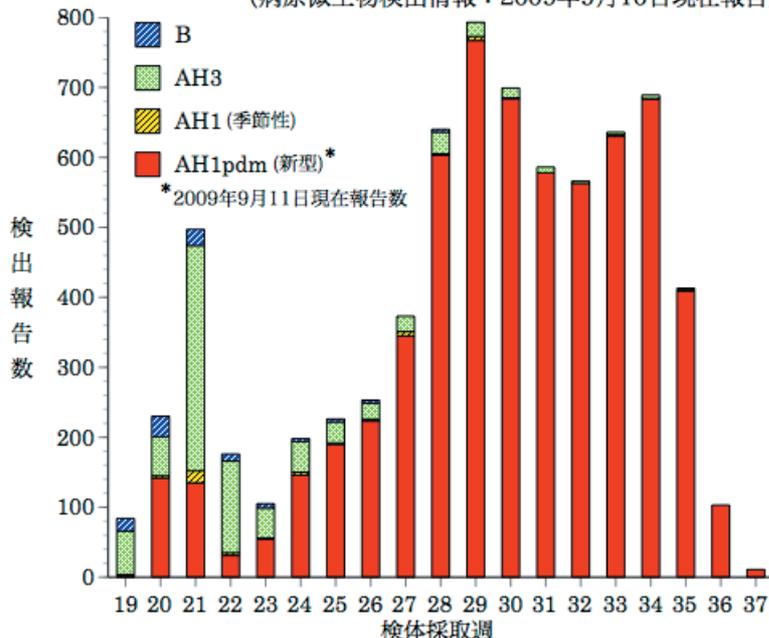
国立感染症研究所・感染症情報センターには地方衛生研究所(地研)から「病原体個票」が報告されている。これには感染症発生動向調査の定点およびその他の医療機関、保健所等で採取された検体から検出された病原体の情報が含まれる。

新型インフルエンザの発生に対応して、2009年5月以降、地研で鑑別診断のための検査が行われている。第19週に最初の新型インフルエンザウイルスAH1pdm検出例が報告され、第20週以降検出数が増加している。

AH1pdmは、2009年第19 ~ 37週に45都道府県から6,299件の分離・検出が報告されており(2009年9月11日現在報告分)、このうち、4,345件はPCRで検出、1,931件はPCRで検出後ウイルス分離培養も陽性、23件はPCRでは検出されず分離培養のみで陽性となっている。また、下気道炎(気管支炎、肺炎)43件、インフルエンザ脳症7件(本号15ページ「速報」参照)、死亡例5件が報告されている。

ちなみに、第19 ~ 37週に季節性インフルエンザウイルスの検出はAH1亜型(Aソ連型)58件、AH3亜型(A香港型)819件、B型102件の報告があり(2009年9月10日現在報告数)、AH1pdmはこの期間の分離・検出例全体の87%を占めている。

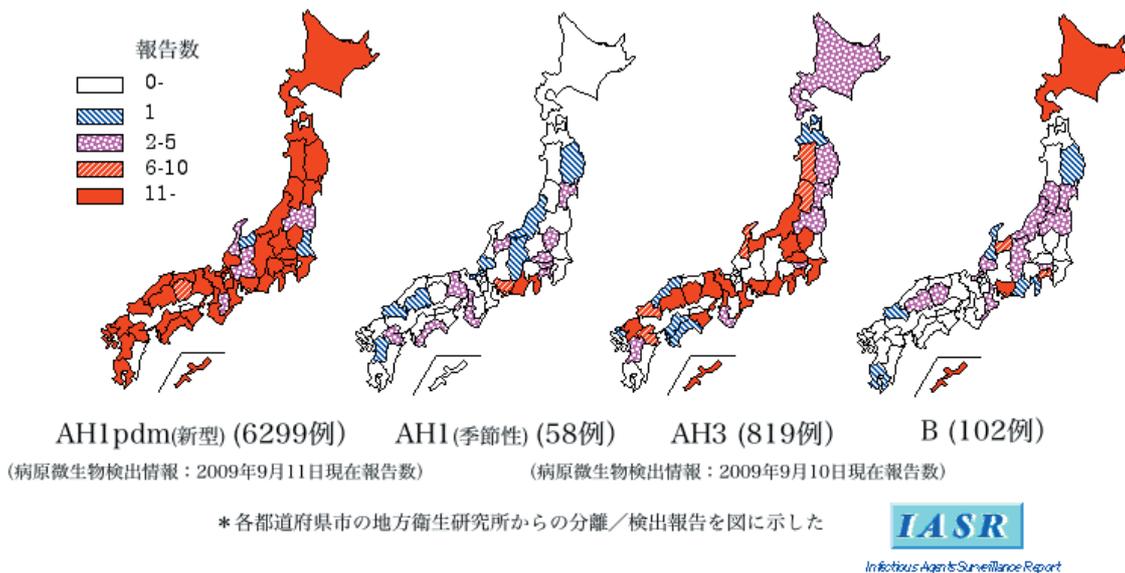
週別インフルエンザウイルス分離・検出報告数、2009年第19~37週
(病原微生物検出情報：2009年9月10日現在報告数)



* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した



都道府県別インフルエンザウイルス分離・検出報告状況、2009年第19週～37週

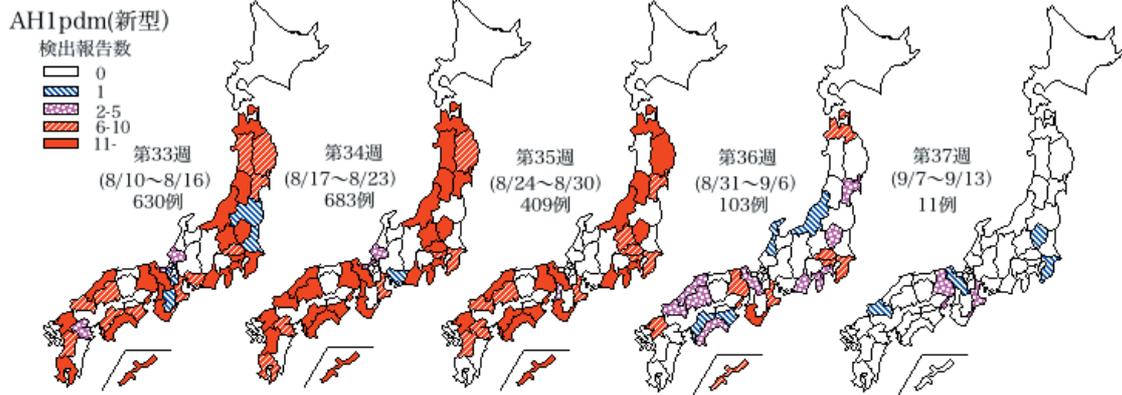


直近の5週間(第33～37週)の分離・検出ではAH1pdmが36都府県から計1,836件、AH3亜型が5都府県から計10件、AH1亜型(季節性)が4都府県から計6件報告されている。第29週以降、B型は報告されていない。

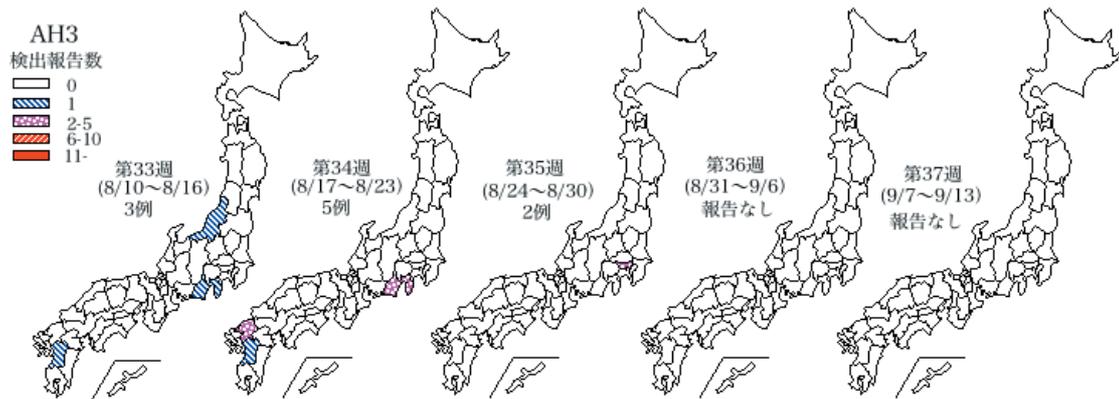
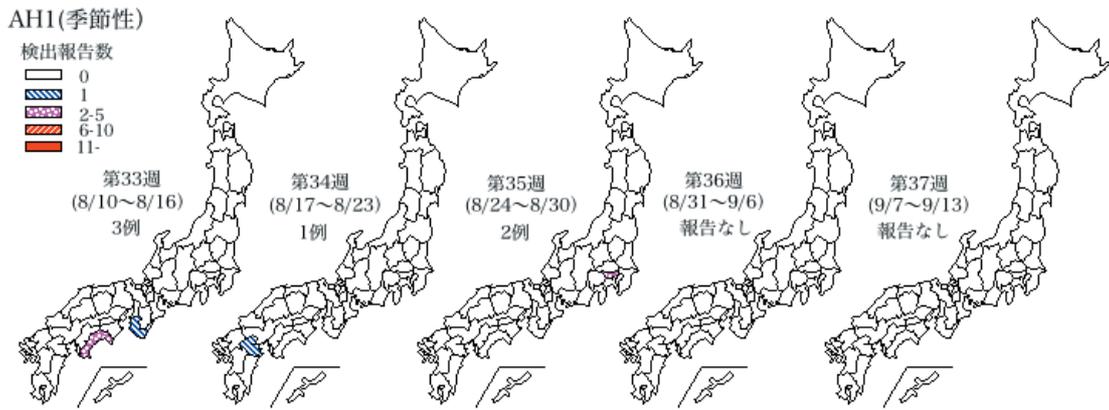
また、第25～29週には輸入例からの検出が大きく増加していたが〔 AH1pdmが482件、AH3亜型が56件、AH1亜型(季節性)が13件 〕、第30週以降、多くの自治体が疑い例の全例検査を中止したため、第30～36週にはAH1pdmが75件、AH3亜型が11件、AH1亜型が1件と報告が減少している。

インフルエンザウイルス分離・検出速報は <http://idsc.nih.go.jp/iasr/influ.html> を参照ください。

週別都道府県別インフルエンザウイルス分離・検出報告状況、2009年第33～37週



(病原微生物検出情報：2009年9月11日現在報告数)



(病原微生物検出情報：2009年9月10日現在報告数)

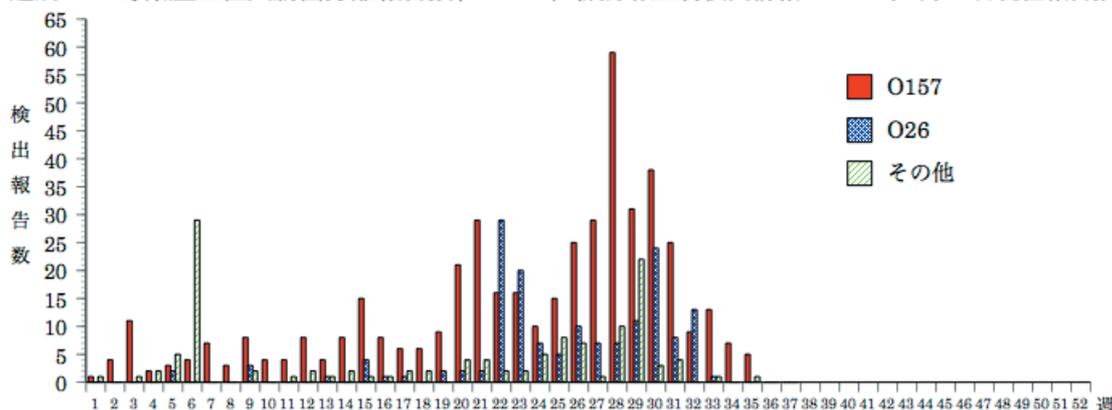
* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を検体採取週別に図に示した



ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌 2009年

2009年第1～36週(12/29～9/6)までの検出総数は750件で、このうち集団発生例からの検出として、第5～6週に大分県(保育所)でO121が31件、第14～16週に新潟県(ホテル)でO157が17件、第20週に福岡県(中国ツアー)でO157が6件、第21～22週に兵庫県(福祉・養護施設)でO157が5件、第22～23週に愛媛県(保育所)でO26が46件、第25週に奈良県(保育所)でO157が2件、第26～27週に新潟県(小児集団)でO26が5件、第28～29週に福岡県(保育所)でO157が14件、第29週に千葉県(保育所)でO121が6件、第29～30週に宮崎県(保育所)でO26が19件、第30～31週に石川県でO26が11件、第31週に佐賀県(友人)でO157が2件、第30～32週に佐賀県(保育所)でO26が7件報告されている。

週別Vero毒素産生性大腸菌分離報告数、2009年(病原微生物検出情報：2009年9月10日現在報告数)

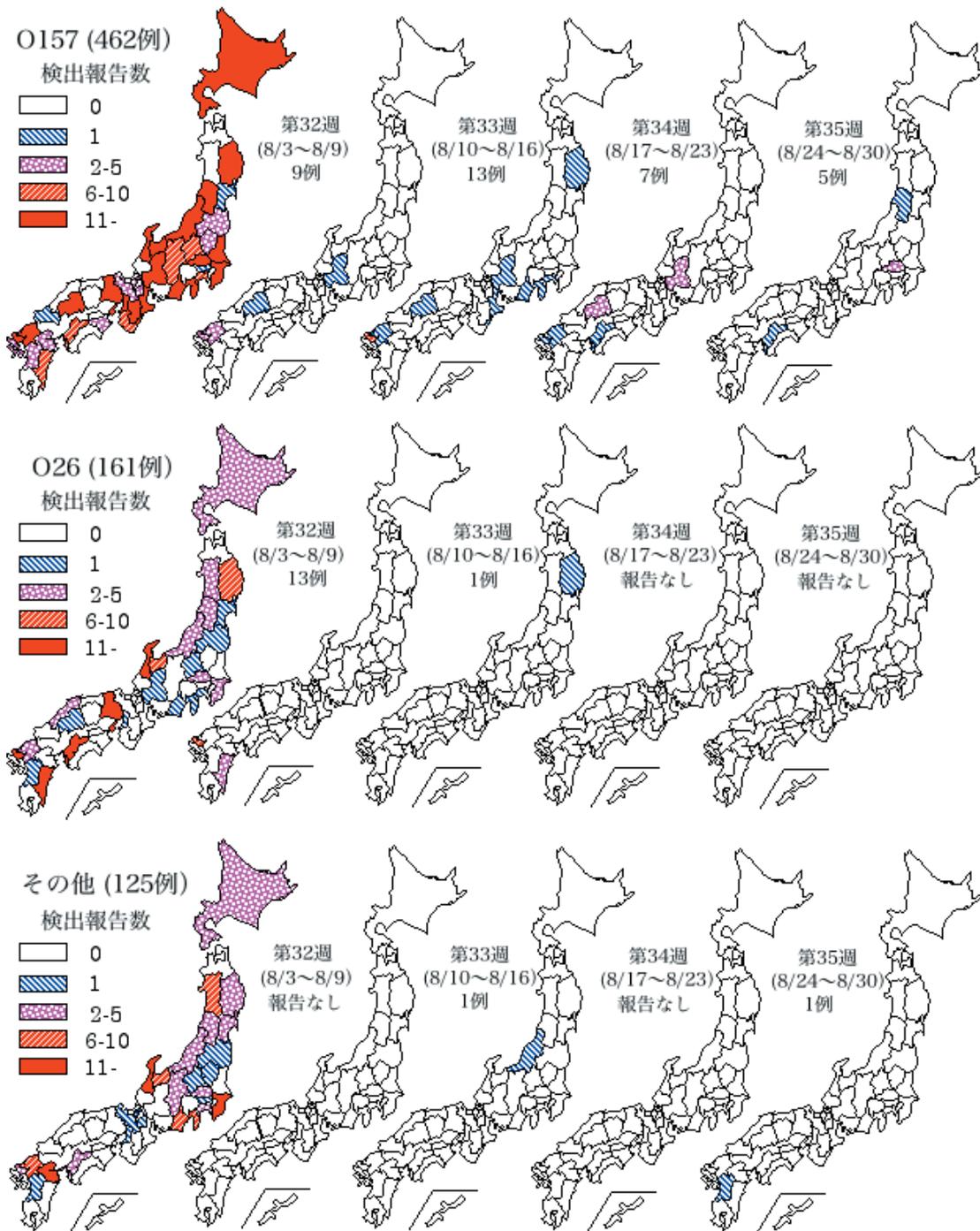


*各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した



2009年1～8月にO157が35都道府県から462件、O26が24道府県から161件、その他の血清型が25都道府県から125件報告されている。

週別都道府県別Vero毒素産生性大腸菌分離報告状況、2009年
(病原微生物検出情報：2009年9月10日現在報告数)



* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した



Infectious Agents Surveillance Report



脳梁膨大部に一過性病変を認めた新型インフルエンザ脳症の1例について - 栃木県

2009年7月22日、日本国内初の新型インフルエンザによる7歳男児の脳症が報告され、翌23日に我々は国内2例目となる11歳女児例を報告した。本例は、異常言動、せん妄および痙攣重積を認めたが、ステロイドパルス療法を行い、快方に向かった。2002年のインフルエンザ脳症研究班の報告では、患者の年齢分布は主に5歳以下で、1~2歳に集中している¹⁾。一方、新型インフルエンザ脳症の年齢分布は、2009年5月、米国テキサスから報告²⁾された4症例では7~17歳、8月15日までに報告された新型インフルエンザ脳症の国内における6症例では4~14歳と、いずれも年齢が比較的高い傾向にある。本例においては、画像所見で脳梁膨大部に一過性の病変を認め、臨床経過と合わせ報告する。

症例は11歳女児。4歳時にインフルエンザ罹患時に熱性痙攣の既往あり。海外渡航歴なし。7月21日、夕方より40 台の高熱、咳嗽を認め、7月22日、近くの医療機関を受診し、簡易検査でインフルエンザA型陽性で、ザナミビルが処方され、1回10mg 1日2回吸入を開始した。同日の夜間40~41 台の高熱が持続し、異常言動(突然笑う、わけのわからないことを言う、突然動き出す)を認めた。医療機関へ向かう途中の車中で意識混濁(開眼しているも、視点が合わず、呼応なし)、数十秒の強直性痙攣を3回繰り返し、7月22日、当院に入院となった。意識レベルは、JCS(Japan Coma Scale)で3~20程度であった。

血液検査所見は、WBC 5,300/ μ l(Neutro. 68.0%、Lympho. 30.0%)、Hb 14.0 g/dl、Plt 19.3 万/ μ l、AST 24 IU/l、ALT 9 IU/l、LDH 220 IU/l、BUN 8.0 mg/dl、Cr 0.63 mg/dl、CK 92 IU/l、Na 136 mEq/l、K 3.3 mEq/l、Cl 100 mEq/l、CRP 2.18 mg/dl、フェリチン 113 ng/ml、IL-6 7.9 pg/ml(正常 4.0)、TNF- α 0.9 pg/mlと、サイトカインは軽度の高値で、血液所見で大きな異常を認めなかった。髄液所見は、細胞数2/ μ l(Lympho. 2)、蛋白24 mg/dl、糖 71 mg/dl、IL-6 6.6 pg/ml、TNF- α 0.5pg/ml以下と、細胞数の上昇を認めなかった。採取した鼻咽腔ぬぐい液を国立感染症研究所のマニュアルに示された方法に従い、リアルタイムRT-PCR検査を実施した。A型共通のM遺伝子およびAH1pdm HA遺伝子を確認し、新型インフルエンザA/H1N1と診断した。

入院処置中は鎮静を保てず、不平不満を口にした。後に確認したところ、本人は入院からここまでのエピソードはほとんど記憶に残っていなかった。その後2時間の間に、数十秒の痙攣をさらに5回繰り返し、意識レベルが悪化した。ジアゼパム静注を行い、以降痙攣は消失した。同時にステロイドパルス療法(メチルプレドニゾン 1g/日 3日間)開始した。入院当日の7月22日(第3病日)に脳波および頭部MRIを施行した。脳波では、基礎波が不規則で、やや高振幅の徐波を全般性に認めた。頭部MRIでは、脳梁膨大部にT2WIで高信号を認め、拡散強調画像(DWI)でも脳梁膨大部に限局して高信号を認めた。7月23日より解熱傾向となり、7月24日以降発熱なく、意識レベルは完全に回復した。7月26日(第6病日)に頭部MRIを再度施行し、脳梁膨大部病変は消失していた。7月29日(第9病日)に神経学的後遺症なく退院となった。8月5日(第16病日)の脳波所見で、左側前頭部優位に全誘導にわたって棘徐波を認めた。現在、てんかんの発症に留意し、経過観察中である。

考察:インフルエンザの一過性の脳梁膨大部病変は2004年に初めて報告³⁾されて以来、同様の症例の報告が相次いでいる。一過性のため血管性浮腫が考えられていたが、DWIで拡散低下を伴うため、過剰な免疫反応による細胞障害性による浮腫の機序も考えられており、いまだ不明な点が多い。脳梁は左右の大脳半球をつなぐ交連線維の束であり、左脳と右脳の情報の交通を司っている。脳梁膨大部は主に後頭葉から線維が伸びており、後頭葉は空間の認識や言

語機能に大きな役割を果たしていることから、脳梁膨大部病変により左右の情報の交通が遮断されることで、本例のようなせん妄における幻覚や見当識障害、異常言動を誘発する可能性が示唆されている。また本例では、意識レベルが完全に回復したときには、脳梁膨大部病変は消失しており、臨床症状と合致していた。新型インフルエンザは、特に若年者で免疫反応が過剰に働くことが示唆されているため、今後の動向に留意すべきと考えられた。

【参考文献】

- 1) Morishima T, Togashi T, Yokota S, et al. Encephalitis and encephalopathy associated with an influenza epidemic in Japan, Clin Infect Dis 35:512-517,2002
- 2) Neurologic Complications Associated with Novel Influenza A(H1N1) Virus Infection in Children - Dallas, Texas, May 2009, MMWR July 24, 2009, 58(28):773-778
- 3) Takanashi J, Barkovich AJ, Yamaguchi K, Kohno Y, Influenza-associated encephalitis/encephalopathy with a reversible lesion in the splenium of the corpus callosum: a case report and literature review, AJNR Am J Neuroradiol 2004 May 25(5): 798-802

独立行政法人国立病院機構栃木病院感染アレルギー科 臨床研究部 山口禎夫
同院小児科 植田恵介 北原 望 石井 徹
自治医科大学 感染制御部 森澤雄司
北里大学抗感染症薬研究センター 花木秀明
北里大学 北里生命科学研究大学院感染制御科学府 砂川慶介

(IASR 2009年10月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照)



海外感染症情報

*WHOのEPR(Epidemic and Pandemic Alert and Response)による、感染症アウトブレイクニュースを掲載しています。

パンデミックインフルエンザ(H1N1)2009 - 検査診断例の公式報告数

2009年9月11日 - 更新65

前回の更新(更新64)以降、9月6日までに、新型インフルエンザの初発患者を報告した国や地域は以下の通りである。

レソト、アンゴラ

WHO発表の症例数
(日本時間 2009年9月6日 現在)

地域名	累計	
	確定例	死亡例
WHOアフリカ地域 (AFRO)	6,336	35
WHOアメリカ地域 (AMRO)	120,653	2,467
WHO東地中海地域 (EMRO)	9,844	51
WHOヨーロッパ地域 (EURO)	49,000 以上	少なくとも 125
WHO東南アジア地域 (SEARO)	22,387	221
WHO西太平洋地域 (WPRO)	69,387	306
総計	277,607以上	少なくとも 3,205

パンデミック(H1N1)2009 短報: no.9 - 第二波への準備: 現在のアウトブレイクから学ぶこと

2009年8月28日

世界各地から報告される新型インフルエンザのアウトブレイクの調査結果は、今後パンデミックインフルエンザがどのような動きをするかということ予測する上で、貴重な情報を提供してくれる。

WHOは北半球各国に対し、第二波への準備を行うように助言している。ほかの地域より遅れてパンデミックインフルエンザウイルスの流行が始まった熱帯地域の国々も、今後予想される患者の増加に対応する準備が必要である。

南半球の温帯地域の一部の国では引き続き警戒が必要である。過去の経験から、たとえ国レベルでの流行がピークを過ぎても、局所的に感染伝播が続くことがありうるからである。

H1N1ウイルスが現在の主流なウイルスである

複数のアウトブレイクの調査から、H1N1パンデミックウイルスは急速に定着しているという証拠が挙がってきており、ほとんどの地域で流行するインフルエンザウイルスの主流となっている。パンデミックは、ウイルスに感受性のある人々の間に持続して感染していくため、今後もしばらくは継続すると考えられる。

WHO協力センターによる緻密なモニタリングによれば、今のところ各アウトブレイクから得られたウイルスは、これまでのものと変化はなく、実質的に同一と考えられる。研究においても、ウイルスが強い病原性や致死的な形に変異したという形跡は認めていない。

同様に、各国のパンデミックインフルエンザ罹患者の臨床症状も主に一貫している。圧倒的多数の感染者の症状は、継続して軽症である。たとえウイルスが重症例や死亡例を小児や健常人にも引き起こしているとしても、これらの人数は少数に留まっている。

多くの人がウイルスに感受性がある状態

重症例や死亡例は少数にとどまっているというこれらの傾向は、非常に勇気づけられるものであるが、同時に多くの国で、大多数の人々がまだ感染に感受性がある。このような大抵は感染しても軽症で済むという状況が続いたとしても、第二波による感染者の増加により、パンデミックのインパクトは悪化する可能性がある。

大多数の重症で集中治療が必要な患者は、医療サービスにおける最も緊急な懸念材料で、集中治療チームに多大な負荷をかけ、他の疾患に対する治療にも影響を与える可能性がある。

薬剤耐性株の監視

現時点では、多数の人に抗ウイルス薬が投与されているにもかかわらず、世界中で見つかっているオセルタミビル耐性ウイルスは、ほんの一握りに限られている。これらの事例については、詳細な調査がなされており、耐性ウイルスが感染伝播したという事実は今のところ認められていない。実験室のWHOネットワークを含め、厳重な監視体制は継続している。

季節性インフルエンザとは別物である

現時点で得られている事実から、パンデミックインフルエンザには季節性インフルエンザの流行期には見られない、いくつかの重要な相違点が認められる。

パンデミックインフルエンザにより最も影響を受けている(感染者数、特に重症例や死亡例の発生が多い)年齢群は、季節性よりも若い。

今日まで、もっとも重症であった症例や死亡例は50歳未満の成人に認められており、高齢者の死亡例は非常に少ない。この年齢分布は重症例や死亡例の約90%が65歳以上の高齢者に起こる季節性インフルエンザとは明らかに異なる。

重症呼吸器疾患

おそらくその違いの中でも最も重要な点は、世界各地の臨床医から非常に重症な症例が報告されている点であり、更に季節性インフルエンザでは通常滅多に見られない若くて比較的健常人においても重症な症例が見られている点である。これらの患者では、ウイルスが直接肺に感染し、重症な肺機能不全を引き起こしている。このような患者が助かるには、通常長期の治療と費用がかかる専門家による集中治療が必要となる。

南半球の冬季において、いくつかの国では集中治療施設の不足が医療体制のもっとも大きな負担となった点を指摘している。これらの国のいくつかの都市からの報告では、入院した患者の15%が集中治療室での治療が必要であったとしている。

重症者の急激な増加に伴う集中治療の需要の増加に対する対応策を整えておくことが重要である。

感染による影響が大きいグループ

妊娠中の感染による重症化リスクの上昇は、多くの国から報告されている。この事実は、より一層このウイルスが若い年齢層への感染が多いことを示している。

また、これまでの報告から特定の基礎疾患のある人が重症化したり、死亡のリスクが高いことを示している。これらのリスクを上昇させる疾患には、呼吸器疾患、特にぜんそく、循環器系疾患、糖尿病、そして免疫不全者を含んでいる。

今後パンデミックインフルエンザによる感染者が増えることが予想されることを考慮すると、これらの基礎疾患を有する人が、以前よりかなり増加していることを各国の保健当局は認識する必要がある。

肥満は、しばしば重症化や致命的に経過することが示されており、しかも現在世界中で増加している。WHOは、世界中におよそ2億3千万人以上のぜんそく患者と2億2千万人以上の糖尿病患者の存在を推定している。

さらに、ぜんそくや糖尿病は通常致命的な疾患と考えられておらず、特に小児や若い成人においては死亡する疾患という認識はない。これらの疾患を持つ若者のH1N1パンデミックウイルス感染後の死亡は、パンデミックのインパクトをさらに大きくする。

入院と死亡のリスク因子

いくつかの初期の検討では、マイノリティーや原住民を含むいくつかの特定した集団に入院や死亡のリスクが高いことが示されている。いくつかの研究の中には、これらの集団が通常の人より4～5倍リスクが高いと報告している。

どのような理由があるのか完全に理解されているわけではないが、生活の質の低さやぜんそく、糖尿病、高血圧といった健康状態の悪い人の割合が高いことが一つの原因と考えられている。

発展途上国との関係性

このような事実は、多くの人が貧しく、健康上の問題を兼ね備え、かつ医療機関へのアクセスが悪い発展途上国にパンデミックが広がることについて、その関連性がより強固なものとなってきている。

パンデミックについてのこれまでのほとんどの情報が、裕福な国又は中所得国からの報告がほとんどであったので、発展途上国でどのような状況が出てくるのか、注視していく必要がある。同じウイルスによる疾患であるが、裕福な国では対応可能であっても、途上国では甚大なインパクトを与えることになりかねない。

HIVとの混合感染

今回の2009インフルエンザパンデミックは、HIV/AIDSが発見されてから初めてのパンデミックである。2カ国からの初期のデータに基づく報告によると、H1N1ウイルスが感染した人において、HIVは抗レトロウイルス療法を行っていても重症化や致命的な経過のリスクを上昇させることは無いようである。これらの患者大部分では、H1N1ウイルスによって引き起こされる疾患は、マイルドかもしくは軽快している。

もしこれらの報告が確認されれば、HIV患者に対して高い確率で抗レトロウイルス療法を行っている国において朗報となる。

現段階での推定では、世界に3千3百万人がHIV/AIDSに罹患していると考えられている。これらのうち、2008年の終わりまでに約4百万人が抗レトロウイルス療法を受けているとWHOでは推定している。



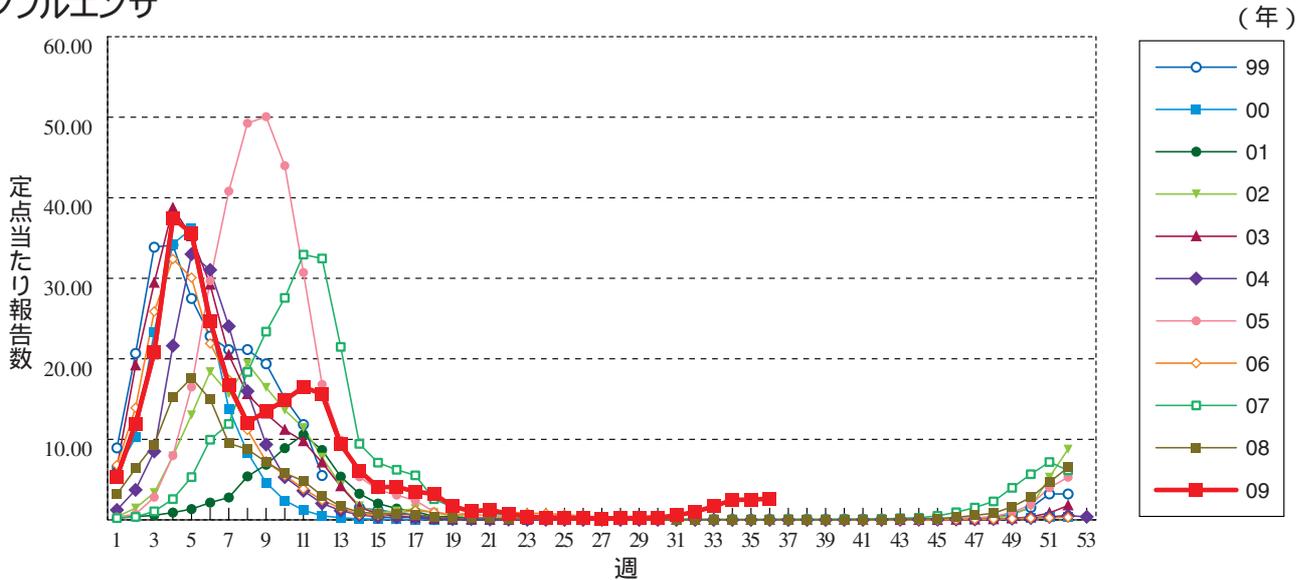
感染症の話

今週はお休みさせていただきます。
「感染症の話」過去の掲載分については
<http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/index.html>
でご覧いただけます。

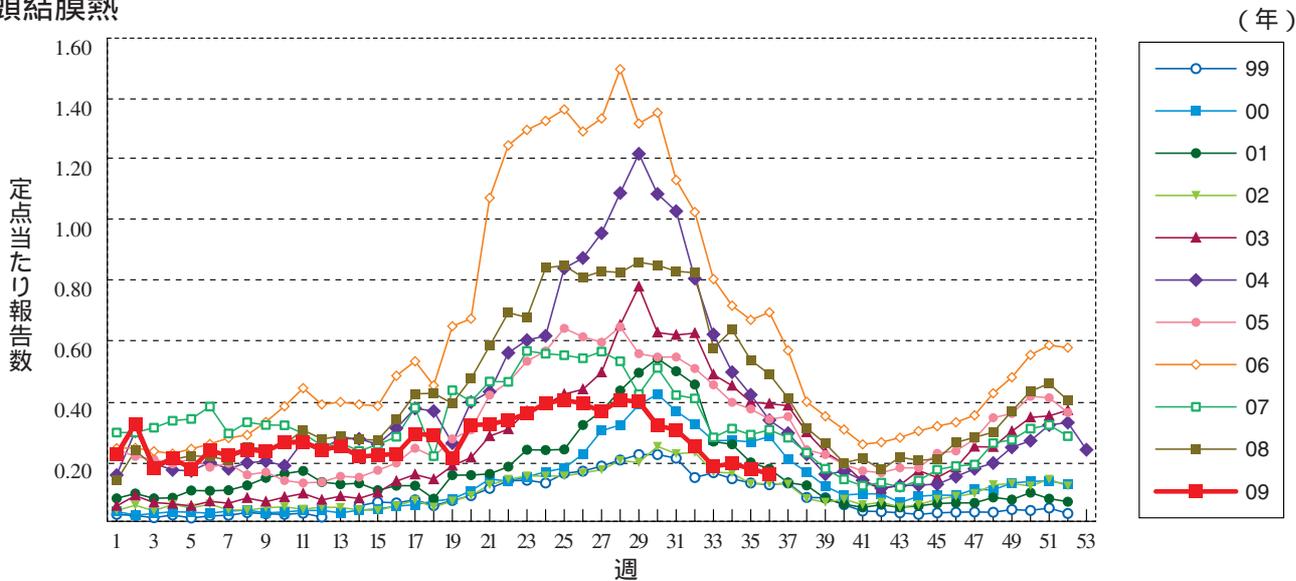


グラフ総覧(36週)

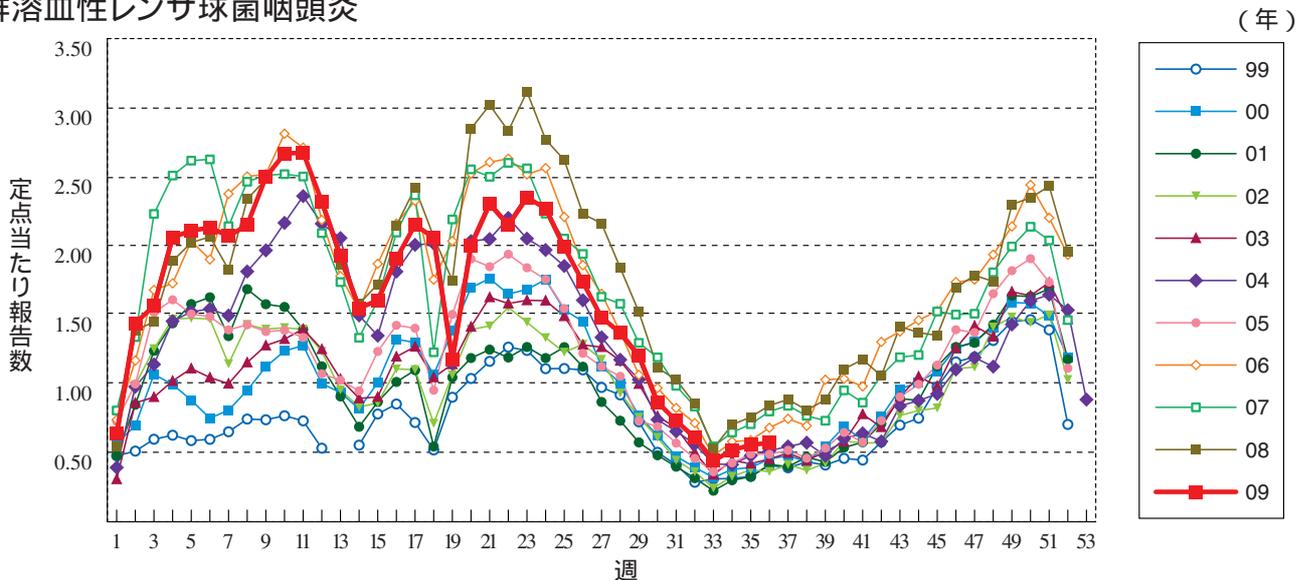
インフルエンザ



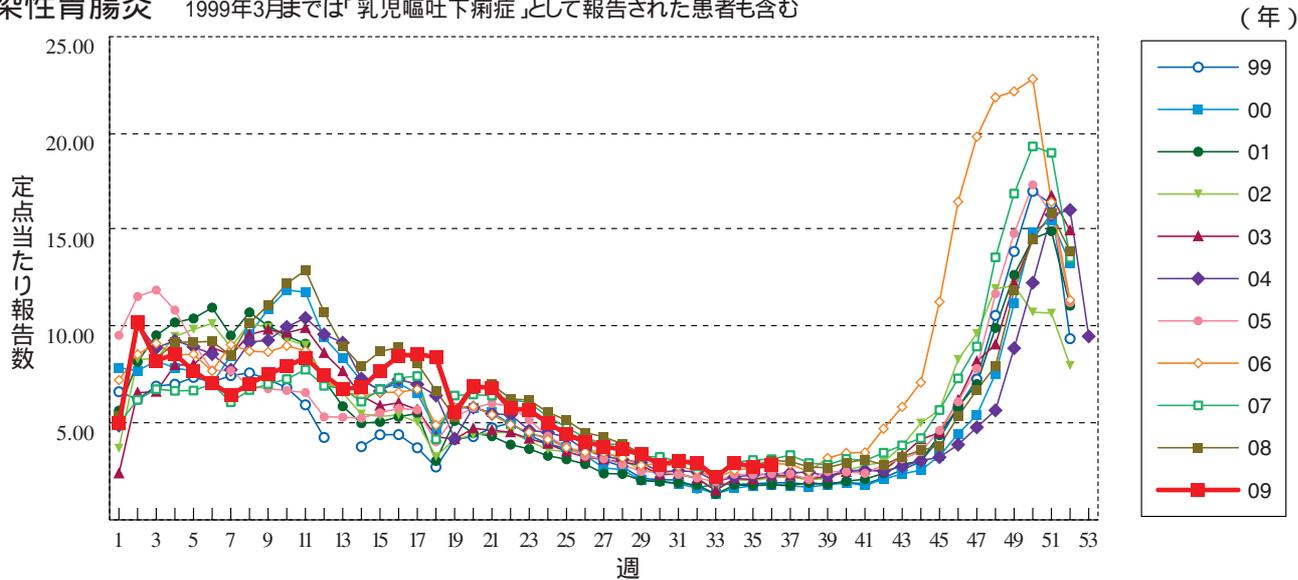
咽頭結膜熱



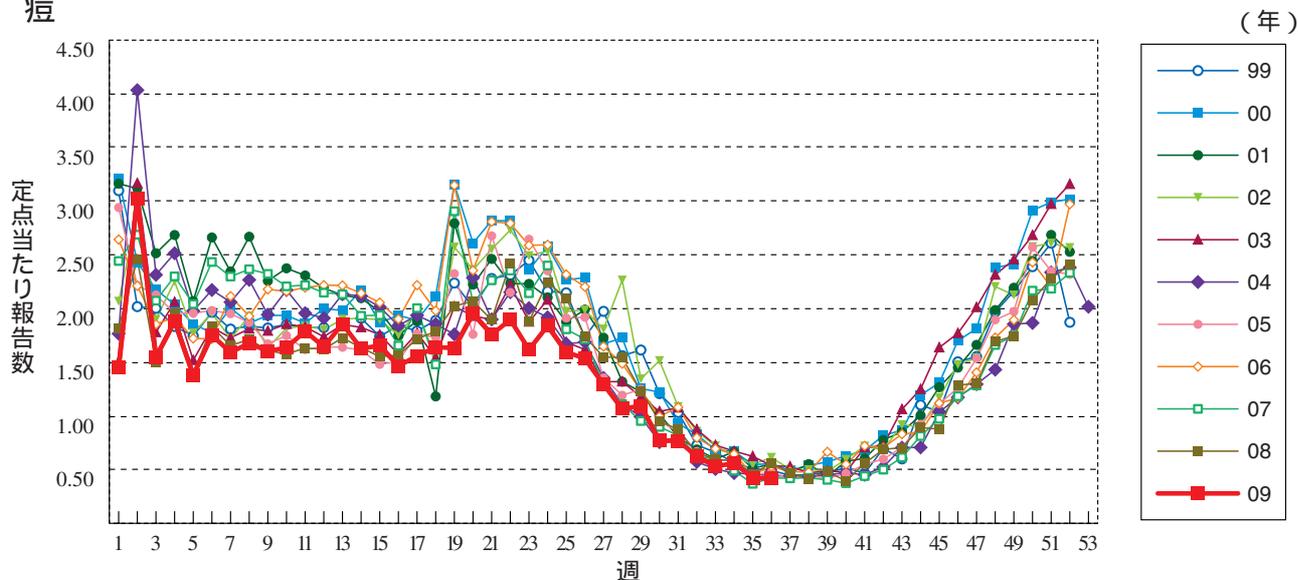
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



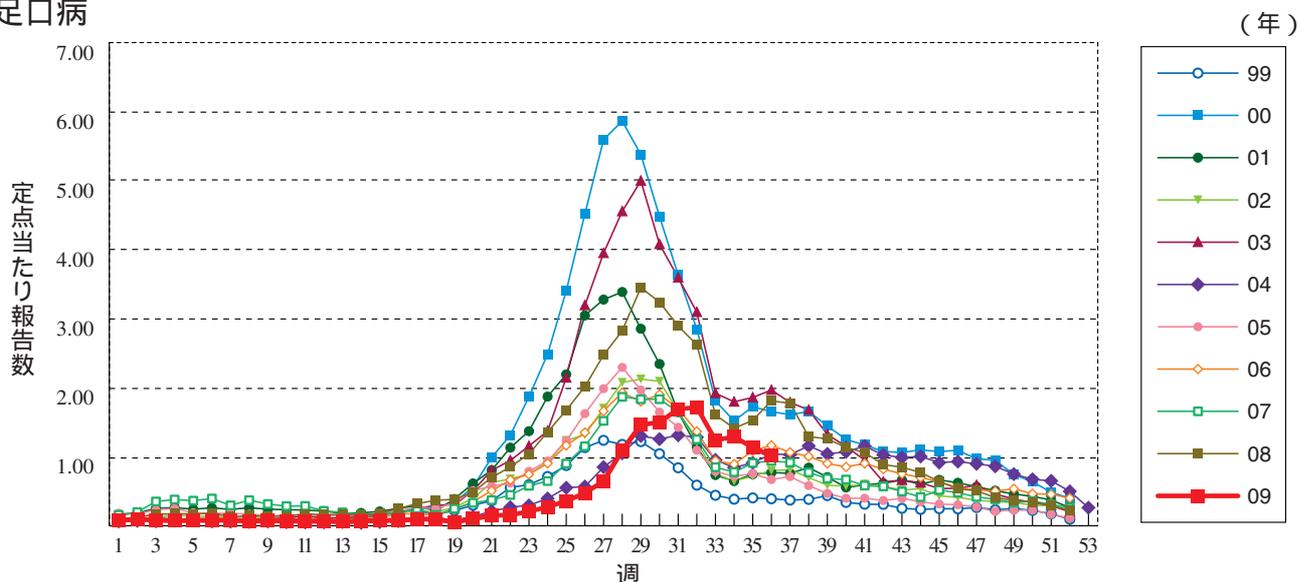
感染性胃腸炎 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



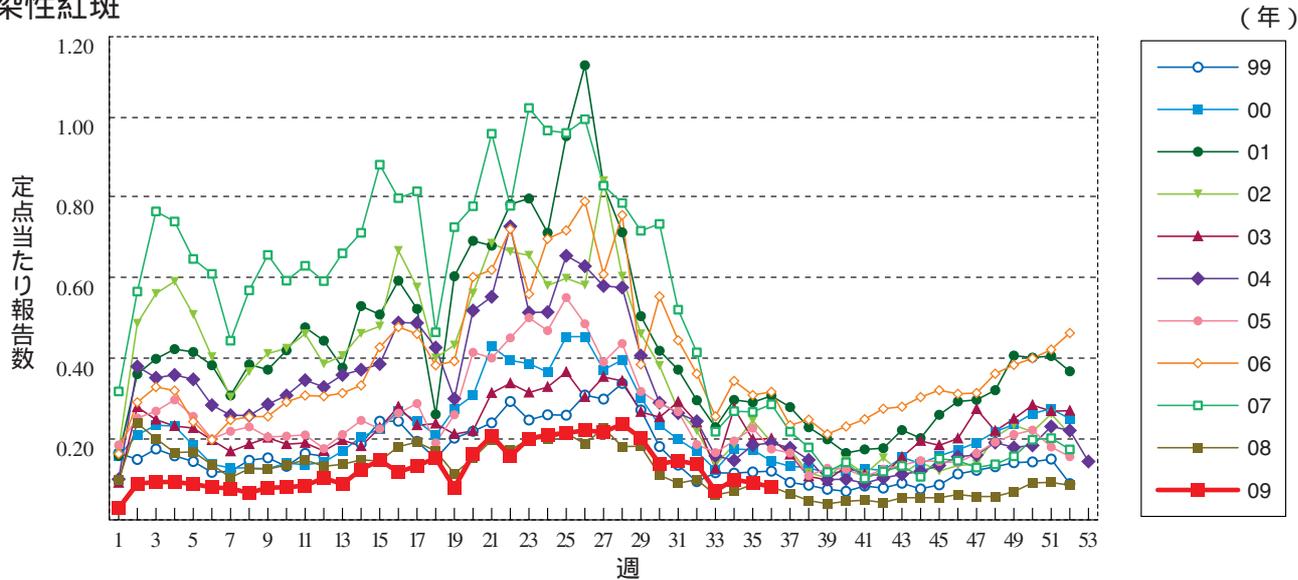
水痘



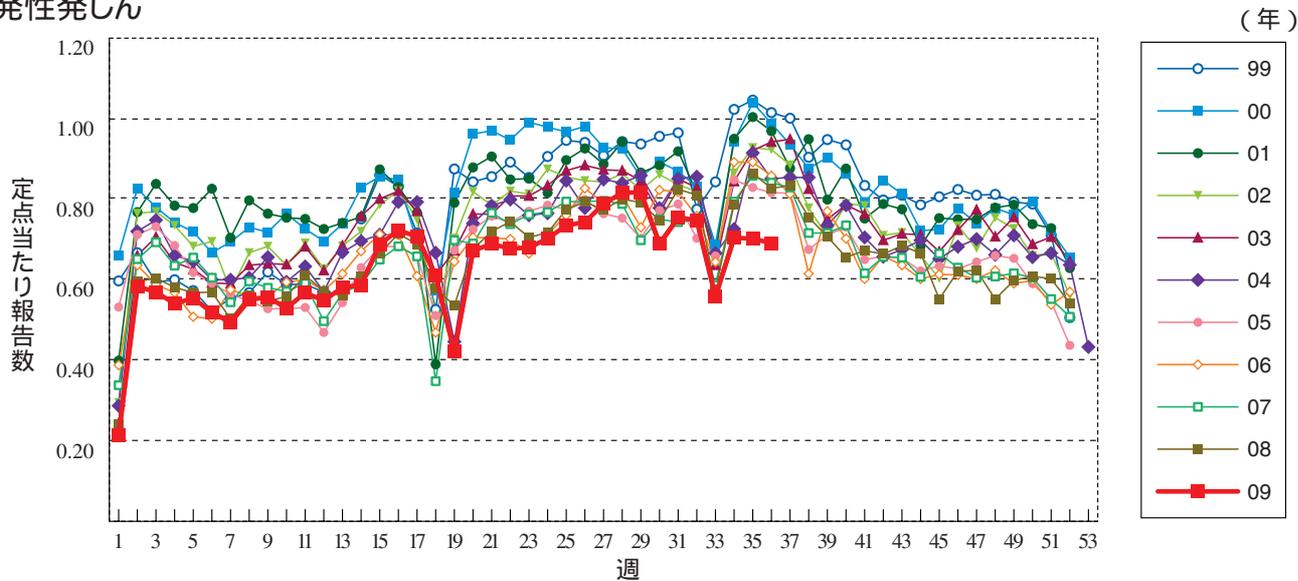
手足口病



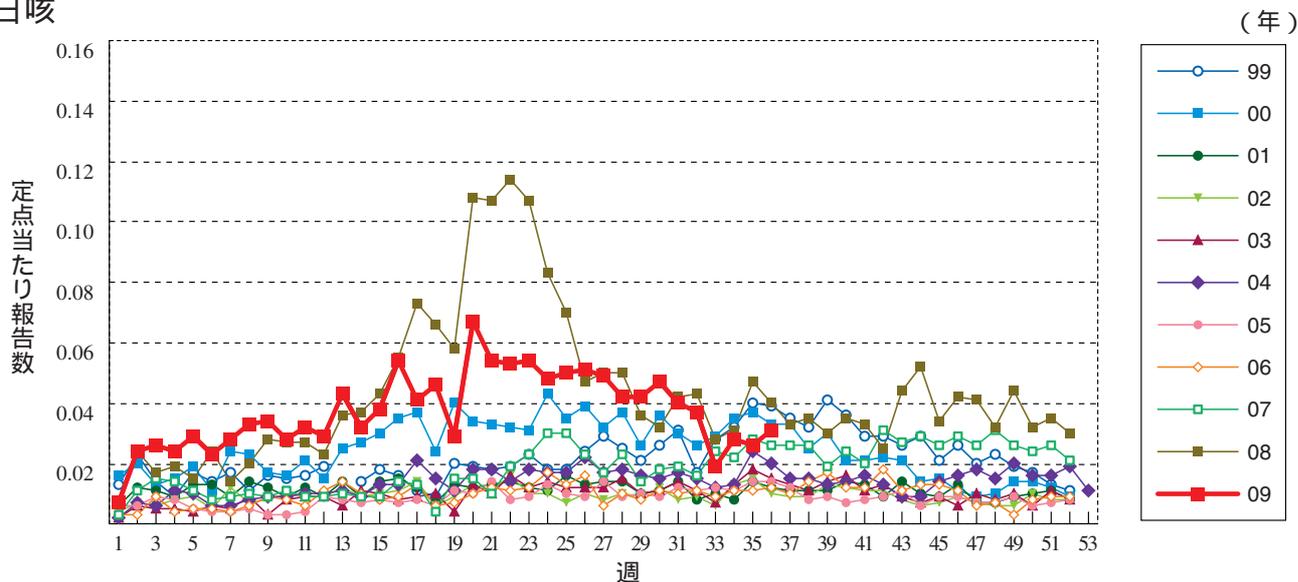
伝染性紅斑



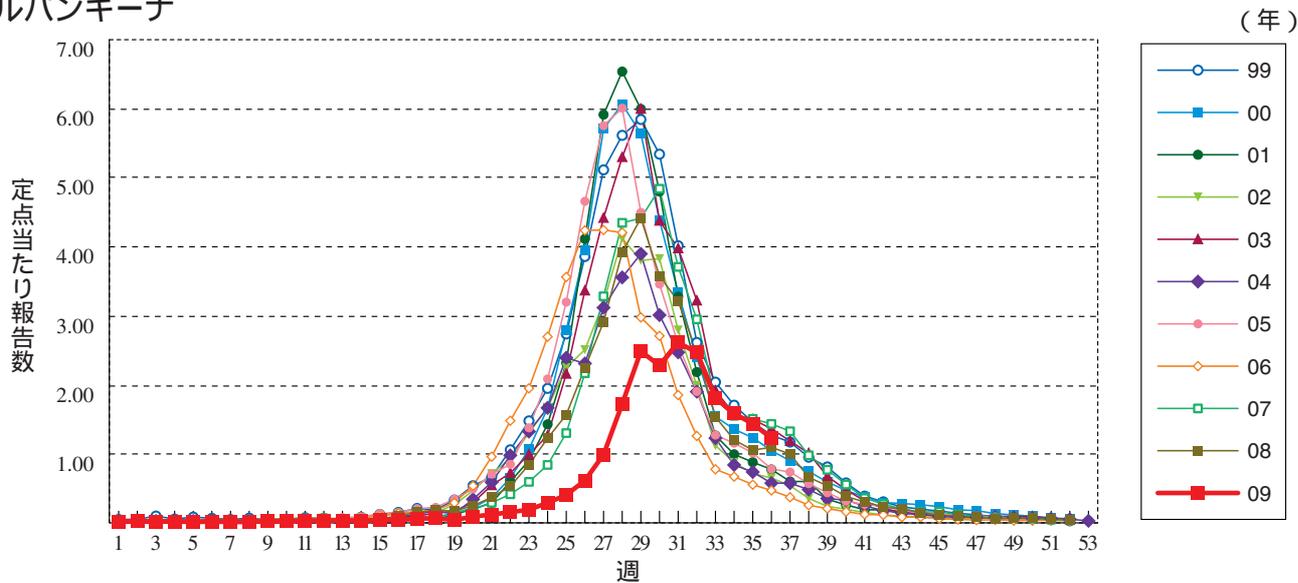
突発性発しん



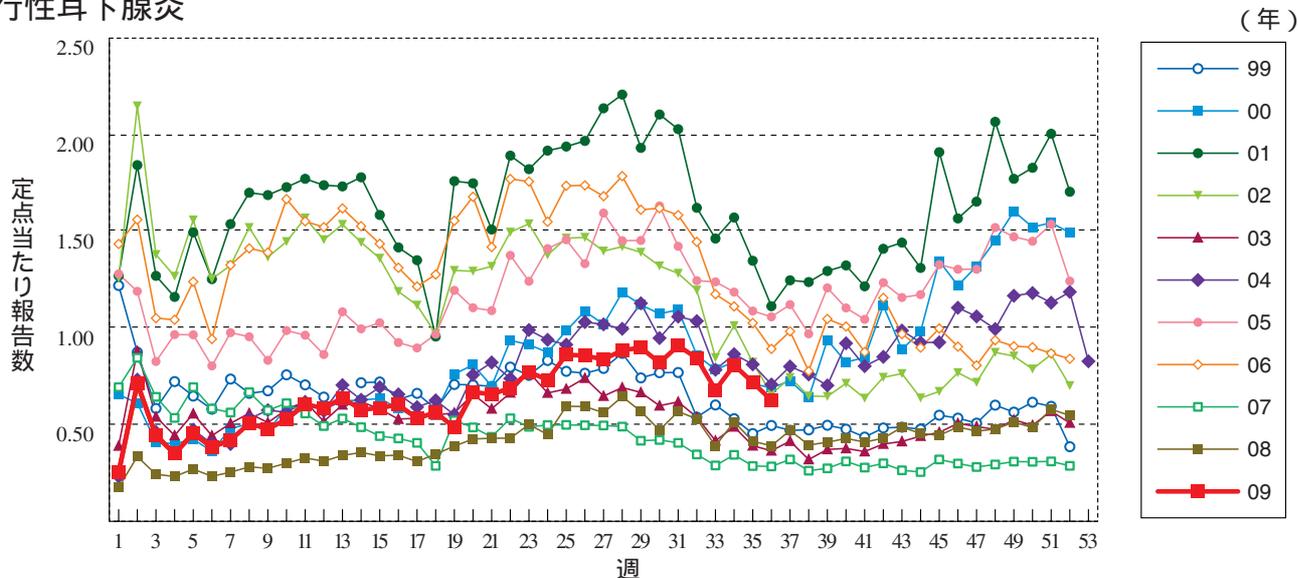
百日咳



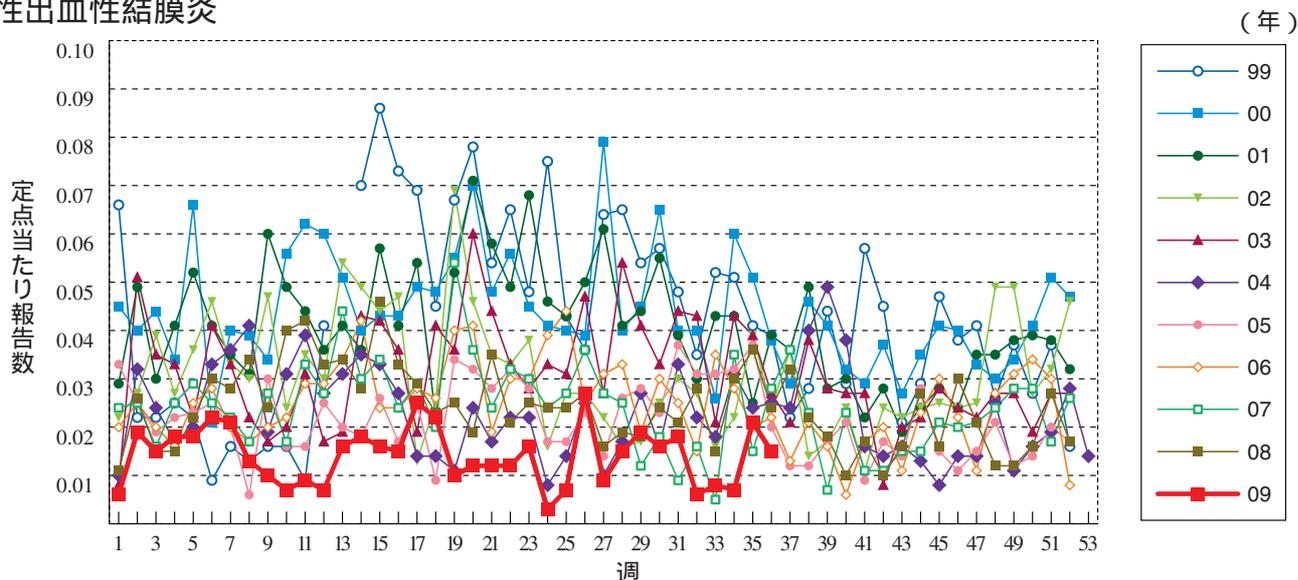
ヘルパンギーナ



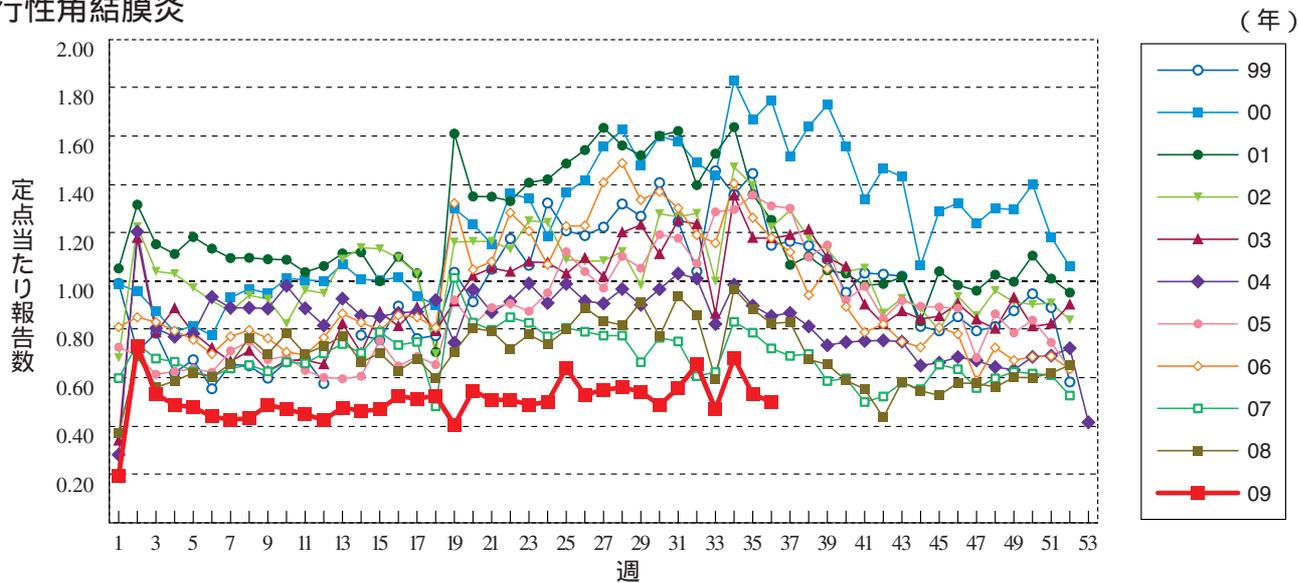
流行性耳下腺炎



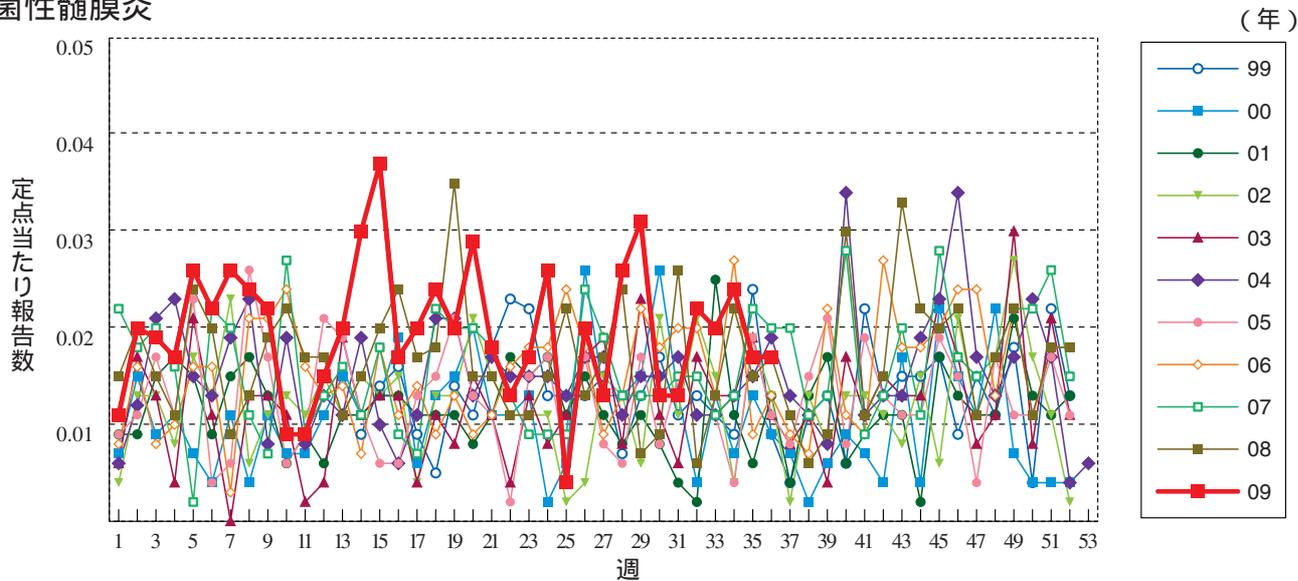
急性出血性結膜炎



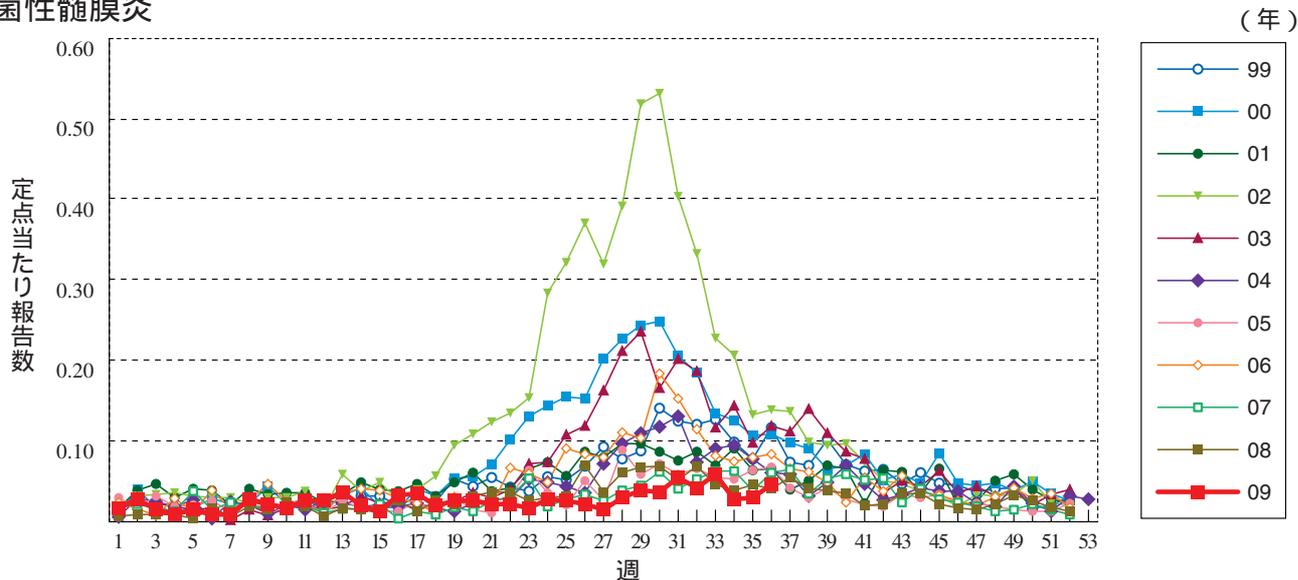
流行性角結膜炎



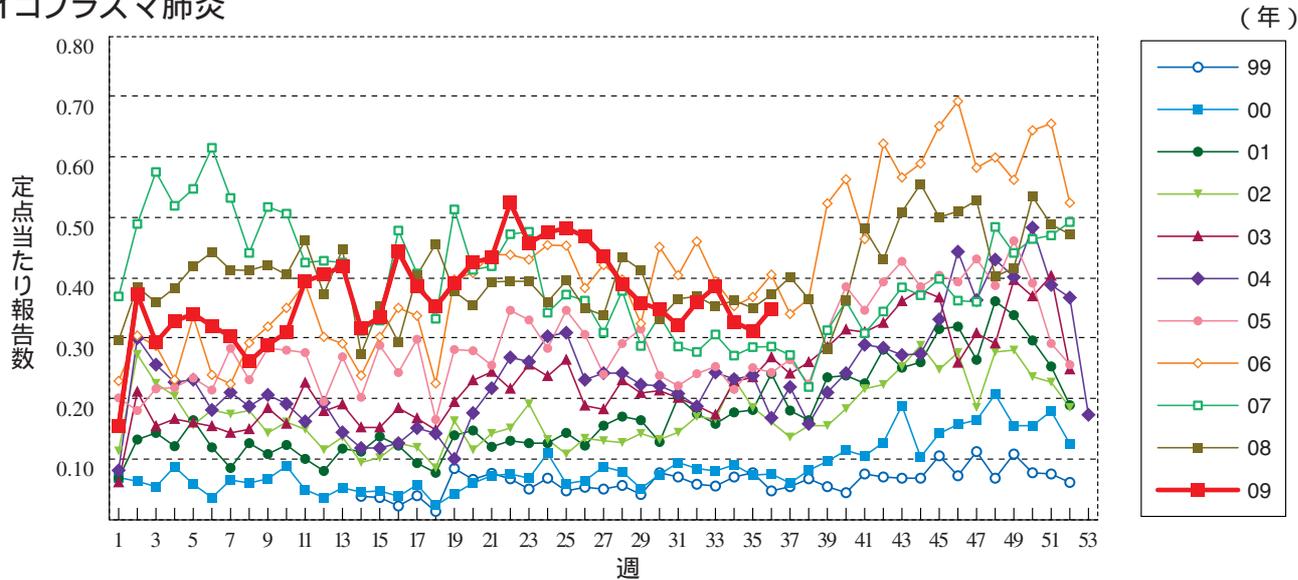
細菌性髄膜炎



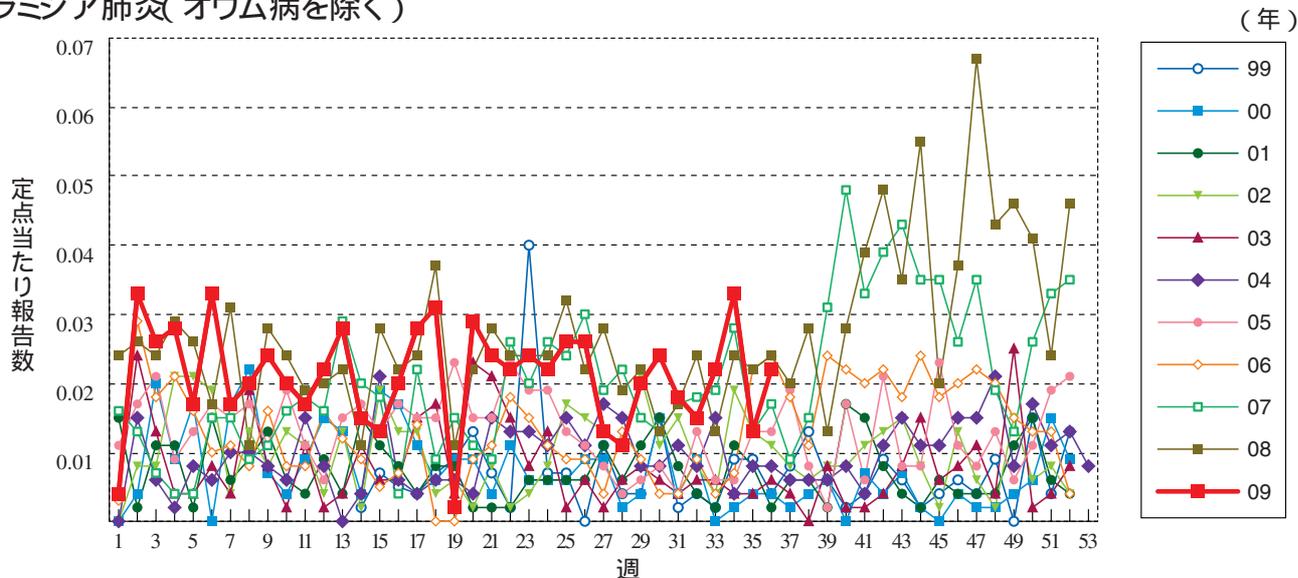
無菌性髄膜炎



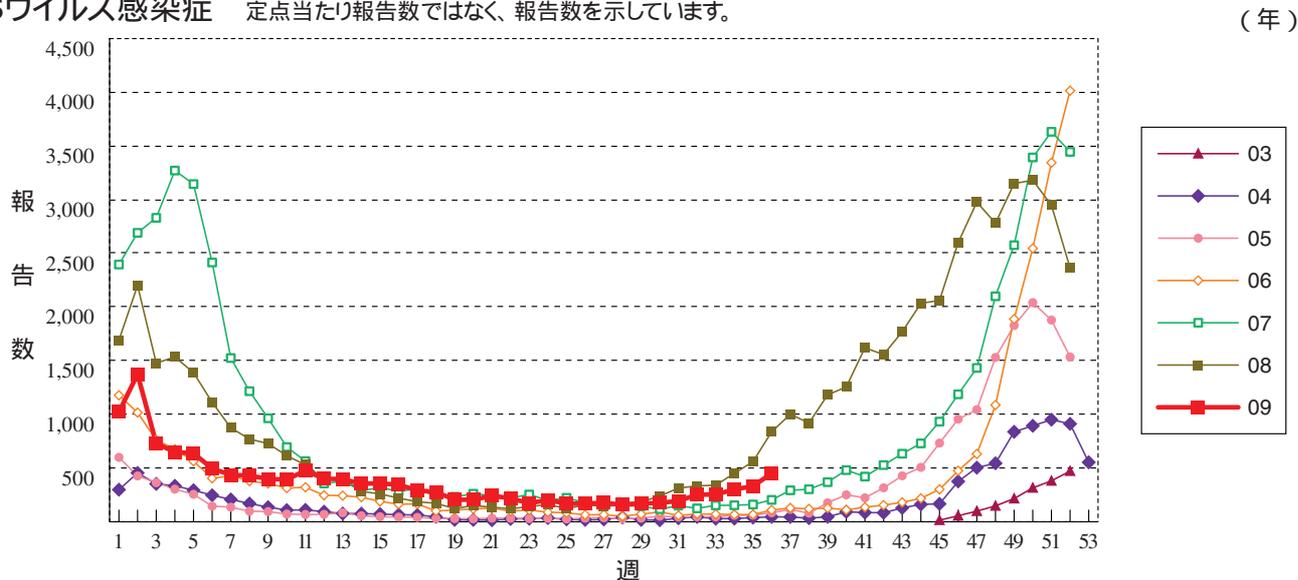
マイコプラズマ肺炎



クラミジア肺炎(オウム病を除く)



RSウイルス感染症 定ポイントあたり報告数ではなく、報告数を示しています。





36週のデータ

注)表中の報告数は9月9日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されず、
新型インフルエンザは掲載していません。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2009年36週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		痘 そう		南米出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		急性灰白髄炎		結 核	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	262	18139
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	548
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	243
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	117
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	221
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	104
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	128
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	203
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	341
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	206
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	115
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	829
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25	1017
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	34	2755
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	21	1292
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	225
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	128
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	128
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	113
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	72
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	197
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	336
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	492
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20	1398
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	265
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	191
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	462
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	1001
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15	617
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	230
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	197
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	62
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	109
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	285
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	398
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	203
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	143
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	176
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	200
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	117
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20	799
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	135
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	243
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	253
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	195
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	180
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	260
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	210

*病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2009年36週

	ジフテリア		重症急性 呼吸器症候群*		鳥インフル エンザ(H5N1)		コレラ		細菌性赤痢		腸管出血性 大腸菌感染症		腸チフス		パラチフス		E型肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	7	7	1	116	170	2499	-	22	-	15	-	34
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	61	-	1	-	-	-	10
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	25	-	1	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	3	48	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	47	-	-	-	1	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	24	-	-	-	-	-	1
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6	65	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	4	23	-	-	-	-	-	1
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	23	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	16	-	-	-	-	-	1
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	8	52	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	9	81	-	1	-	-	-	1
千葉県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	7	9	112	-	-	-	-	-	2
東京都	-	-	-	-	-	-	2	2	-	30	12	208	-	10	-	7	-	6
神奈川県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	16	3	117	-	-	-	2	-	1
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	44	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	2	4	29	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	5	79	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	36	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	21	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	3	24	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	1	1	48	-	2	-	1	-	2
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	11	7	134	-	2	-	3	-	2
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	4	22	-	-	-	-	-	2
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	18	-	-	-	-	-	1
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	50	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	1	1	-	3	7	113	-	2	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	12	115	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	8	27	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	19	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	8	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	3	89	-	2	-	-	-	1
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	72	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	34	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	44	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	63	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	17	172	-	-	-	-	-	1
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	39	-	-	-	1	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	19	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	35	-	-	-	-	-	2
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	86	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	46	-	1	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	44	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	41	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2009年36週

	ウエストナイル熱		A型肝炎		エキノコックス症		黄熱		オウム病		オムスク出血熱		回帰熱		キャサナル森林病		Q熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	4	91	-	16	-	-	-	15	-	-	-	-	-	-	-	2
北海道	-	-	-	1	-	14	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	1	4	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	3	14	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
神奈川県	-	-	-	7	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	8	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	7	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
奈良県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2009年36週

	狂犬病		コクシジ オイデス症		サル痘		腎症候性出血熱		西部ウマ脳炎		ダニ媒介脳炎		炭疽		つつが虫病		デング熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	108	1	50
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	1
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	1
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	1	4
東京都	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	17
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

*鳥インフルエンザ H5N1 を除く。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2009年36週

	東部ウマ脳炎		鳥インフルエンザ*		ニパウイルス感染症		日本紅斑熱		日本脳炎		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		鼻 疽		ブルセラ症		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	
総 数	-	-	-	-	-	-	4	54	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
千葉県	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	1	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	1	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	1	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2009年36週

	ペネズエラ ウマ脳炎		ヘンドラウイルス 感染症		発しんチフス		ポツリヌス症		マラリア		野 兎 病		ライム病		リッサウイルス 感染症		リフトバレー熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	43	-	-	-	5	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	18	-	-	-	1	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

*E型肝炎およびA型肝炎を除く。

**ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ペネズエラウマ脳炎およびリフトバレー熱を除く。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2009年36週

	類鼻疽		レジオネラ症		レプトスピラ症		ロッキー山紅斑熱		アメーバ赤痢		ウイルス性肝炎*		急性脳炎**		クリプトスポリジウム症		クロイツフェルト・ヤコブ病	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	10	481	-	6	-	-	7	546	2	157	4	162	-	12	-	87
北海道	-	-	-	15	-	-	-	-	-	15	-	1	-	2	-	2	-	1
青森県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	9	-	-
岩手県	-	-	-	8	-	-	-	-	-	3	-	1	-	4	-	-	-	-
宮城県	-	-	1	13	-	-	-	-	-	12	-	5	-	-	-	-	-	1
秋田県	-	-	1	5	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1
山形県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	2
福島県	-	-	-	10	-	-	-	-	-	10	-	-	-	3	-	-	-	2
茨城県	-	-	-	10	-	-	-	-	-	5	-	2	-	6	-	-	-	2
栃木県	-	-	-	11	-	-	-	-	-	5	-	3	1	4	-	-	-	1
群馬県	-	-	-	10	-	-	-	-	-	5	-	5	-	3	-	-	-	2
埼玉県	-	-	1	19	-	-	-	-	1	23	-	11	-	13	-	-	-	3
千葉県	-	-	-	17	-	1	-	-	-	39	-	3	-	16	-	-	-	2
東京都	-	-	2	38	-	-	-	-	2	94	1	24	-	17	-	1	-	10
神奈川県	-	-	1	26	-	1	-	-	1	44	-	12	-	3	-	-	-	8
新潟県	-	-	-	17	-	1	-	-	-	5	-	-	-	8	-	-	-	1
富山県	-	-	-	14	-	-	-	-	-	4	-	1	-	2	-	-	-	-
石川県	-	-	-	14	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	1
長野県	-	-	-	9	-	-	-	-	-	5	-	-	-	4	-	-	-	2
岐阜県	-	-	-	17	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	3
静岡県	-	-	-	20	-	-	-	-	-	9	-	5	-	2	-	-	-	2
愛知県	-	-	1	32	-	-	-	-	-	38	-	12	1	5	-	-	-	5
三重県	-	-	-	8	-	1	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-	-	5
滋賀県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	9	-	1	-	1	-	-	-	2
京都府	-	-	-	11	-	-	-	-	-	15	-	5	1	3	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	23	-	-	-	-	1	66	-	11	1	27	-	-	-	6
兵庫県	-	-	2	27	-	-	-	-	1	28	-	10	-	1	-	-	-	2
奈良県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	9	-	1	-	-	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	7	-	-	-	-	-	8	-	1	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	3	-	1	-	1	-	-	-	-
島根県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	2	-	1	-	1	-	-	-	2
岡山県	-	-	1	10	-	-	-	-	-	14	-	8	-	2	-	-	-	3
広島県	-	-	-	16	-	-	-	-	-	7	-	11	-	4	-	-	-	3
山口県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	4	-	-	-	2	-	-	-	2
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	1
香川県	-	-	-	6	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	1
愛媛県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	4	-	3	-	-	-	-	-	1
高知県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	1	1	2	-	2	-	-	-	1
福岡県	-	-	-	6	-	-	-	-	-	14	-	6	-	2	-	-	-	3
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
長崎県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	5	-	3	-	1	-	-	-	2
熊本県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-	-	2
大分県	-	-	-	1	-	-	-	-	1	5	-	1	-	1	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	5	-	3	-	6	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	6	-	1	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	7	-	1	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2009年36週

	劇症型溶血性 レンサ球菌感染症		後天性免疫不全 症候群		ジアルジア症		髄膜炎菌性 髄膜炎		先天性風しん 症候群		梅 毒		破 傷 風		バンコマイシン耐性 黄色ブドウ球菌感染症		バンコマイシン耐性 腸球菌感染症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	2	83	7	1001	-	53	-	9	1	1	7	492	3	76	-	-	1	68
北海道	-	3	-	21	-	3	-	-	-	-	-	13	-	6	-	-	-	3
青森県	-	2	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-	-	12	-	3	-	-	-	-
秋田県	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-
山形県	-	-	-	3	-	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
福島県	-	2	-	4	-	-	-	-	-	-	-	4	1	1	-	-	-	-
茨城県	-	3	1	19	-	2	-	-	-	-	-	6	-	1	-	-	-	-
栃木県	-	-	1	14	-	1	-	1	-	-	-	4	-	-	-	-	-	2
群馬県	-	2	-	11	-	-	-	-	-	-	-	5	-	1	-	-	-	-
埼玉県	-	4	1	23	-	-	-	-	-	-	-	13	-	2	-	-	1	6
千葉県	-	3	-	37	-	2	-	2	-	-	-	16	-	4	-	-	-	4
東京都	-	8	2	327	-	16	-	1	-	-	3	139	-	5	-	-	-	10
神奈川県	2	6	-	57	-	5	-	1	-	-	-	23	-	2	-	-	-	15
新潟県	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-	-	1
富山県	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
石川県	-	1	-	4	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1
長野県	-	1	-	7	-	-	-	-	1	1	-	4	-	4	-	-	-	2
岐阜県	-	2	-	9	-	1	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	4	-	19	-	1	-	-	-	-	-	14	-	1	-	-	-	3
愛知県	-	8	-	61	-	1	-	1	-	-	-	27	1	4	-	-	-	1
三重県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	1	16	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	2	-	6	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-
京都府	-	1	-	18	-	1	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	5
大阪府	-	4	-	165	-	7	-	-	-	-	-	50	-	4	-	-	-	4
兵庫県	-	7	-	31	-	2	-	-	-	-	1	8	-	2	-	-	-	-
奈良県	-	4	-	11	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	2	-	3	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-
島根県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2	-	-	-	1
広島県	-	4	2	22	-	1	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-
山口県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	4	-	3	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
香川県	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-
愛媛県	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	1	-	32	-	2	-	2	-	-	1	40	-	2	-	-	-	7
佐賀県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	1	-	6	-	1	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	8	-	1	-	1	-	-	1	16	1	3	-	-	-	3
大分県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	4	-	3	-	-	-	-
宮崎県	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	7	-	4	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	1	-	5	-	-	-	-
沖縄県	-	1	-	13	-	-	-	-	-	-	-	5	-	1	-	-	-	-

報告数・累積報告数，疾病・都道府県別 2009年36週

	風しん		麻疹	
	報告数	累積	報告数	累積
総 数	1	127	6	604
北海道	-	4	-	13
青森県	-	-	-	7
岩手県	-	-	-	2
宮城県	-	1	-	7
秋田県	-	1	-	-
山形県	-	-	-	7
福島県	-	2	-	7
茨城県	-	2	1	10
栃木県	-	2	1	11
群馬県	-	1	-	8
埼玉県	-	4	-	38
千葉県	-	9	1	89
東京都	-	11	-	87
神奈川県	-	12	-	85
新潟県	-	5	-	12
富山県	-	-	-	2
石川県	-	1	-	1
福井県	-	-	-	4
山梨県	-	-	-	1
長野県	-	-	1	12
岐阜県	-	2	-	7
静岡県	-	-	-	10
愛知県	-	10	-	23
三重県	-	2	-	2
滋賀県	-	2	-	5
京都府	-	1	-	9
大阪府	-	11	-	51
兵庫県	-	6	-	6
奈良県	-	2	-	3
和歌山県	-	3	-	7
鳥取県	-	-	-	2
島根県	-	1	-	-
岡山県	-	2	-	9
広島県	-	3	-	11
山口県	-	-	-	3
徳島県	-	-	-	1
香川県	-	-	-	4
愛媛県	-	-	1	6
高知県	-	1	-	-
福岡県	1	22	-	22
佐賀県	-	-	-	3
長崎県	-	-	-	3
熊本県	-	-	-	-
大分県	-	2	-	3
宮崎県	-	2	-	1
鹿児島県	-	-	1	6
沖縄県	-	-	-	4

*鳥インフルエンザを除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2009年36週

	インフルエンザ*		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	12515	2.62	477	0.16	1735	0.57	8620	2.84	1261	0.42	3069	1.01	248	0.08	2093	0.69	93	0.03
北海道	804	3.53	39	0.27	193	1.35	153	1.07	69	0.48	181	1.27	10	0.07	70	0.49	3	0.02
青森県	45	0.69	2	0.05	33	0.79	62	1.48	17	0.40	129	3.07	5	0.12	33	0.79	1	0.02
岩手県	167	2.61	1	0.03	10	0.25	86	2.15	15	0.38	24	0.60	3	0.08	18	0.45	-	-
宮城県	370	3.85	3	0.05	35	0.58	204	3.40	24	0.40	39	0.65	6	0.10	55	0.92	-	-
秋田県	62	1.13	4	0.11	33	0.94	93	2.66	11	0.31	70	2.00	-	-	16	0.46	1	0.03
山形県	96	2.00	5	0.17	33	1.10	112	3.73	10	0.33	64	2.13	-	-	31	1.03	-	-
福島県	99	1.24	7	0.15	27	0.56	107	2.23	25	0.52	40	0.83	1	0.02	38	0.79	1	0.02
茨城県	188	1.57	17	0.23	35	0.47	127	1.69	19	0.25	81	1.08	6	0.08	32	0.43	7	0.09
栃木県	106	1.39	1	0.02	19	0.40	67	1.40	10	0.21	98	2.04	1	0.02	29	0.60	1	0.02
群馬県	100	1.00	5	0.08	26	0.42	215	3.47	19	0.31	25	0.40	1	0.02	43	0.69	-	-
埼玉県	655	2.63	26	0.16	116	0.73	491	3.07	52	0.33	209	1.31	15	0.09	130	0.81	2	0.01
千葉県	621	3.00	15	0.11	61	0.47	302	2.31	39	0.30	170	1.30	14	0.11	94	0.72	5	0.04
東京都	1057	3.66	9	0.06	59	0.40	422	2.83	44	0.30	174	1.17	29	0.19	88	0.59	5	0.03
神奈川県	841	2.57	22	0.11	90	0.44	493	2.42	78	0.38	199	0.98	56	0.27	167	0.82	6	0.03
新潟県	133	1.39	12	0.20	47	0.78	72	1.20	27	0.45	65	1.08	1	0.02	30	0.50	4	0.07
富山県	53	1.10	9	0.31	31	1.07	109	3.76	6	0.21	22	0.76	-	-	20	0.69	-	-
石川県	50	1.04	6	0.21	12	0.41	110	3.79	13	0.45	20	0.69	-	-	13	0.45	-	-
福井県	72	2.25	1	0.05	14	0.64	106	4.82	13	0.59	16	0.73	-	-	13	0.59	-	-
山梨県	65	1.63	3	0.13	25	1.04	50	2.08	5	0.21	13	0.54	1	0.04	14	0.58	1	0.04
長野県	117	1.33	13	0.24	43	0.78	138	2.51	25	0.45	69	1.25	7	0.13	32	0.58	1	0.02
岐阜県	127	1.46	4	0.08	15	0.28	84	1.58	18	0.34	17	0.32	4	0.08	22	0.42	-	-
静岡県	162	1.26	17	0.20	50	0.58	284	3.30	26	0.30	43	0.50	2	0.02	63	0.73	-	-
愛知県	391	2.02	12	0.07	62	0.34	508	2.81	70	0.39	53	0.29	9	0.05	140	0.77	7	0.04
三重県	111	1.54	7	0.16	20	0.44	206	4.58	29	0.64	10	0.22	3	0.07	39	0.87	2	0.04
滋賀県	130	2.50	11	0.35	12	0.39	106	3.42	12	0.39	22	0.71	1	0.03	9	0.29	-	-
京都府	386	3.19	2	0.03	20	0.28	197	2.74	15	0.21	50	0.69	2	0.03	34	0.47	-	-
大阪府	1219	4.26	31	0.16	100	0.52	654	3.41	116	0.60	76	0.40	9	0.05	116	0.60	4	0.02
兵庫県	495	2.50	20	0.16	61	0.48	405	3.16	59	0.46	55	0.43	5	0.04	88	0.69	7	0.05
奈良県	106	1.93	8	0.23	4	0.11	85	2.43	10	0.29	14	0.40	2	0.06	21	0.60	-	-
和歌山県	64	1.28	4	0.13	4	0.13	52	1.68	27	0.87	13	0.42	-	-	18	0.58	-	-
鳥取県	59	2.03	1	0.05	12	0.63	94	4.95	4	0.21	5	0.26	2	0.11	17	0.89	1	0.05
島根県	79	2.08	3	0.13	14	0.61	98	4.26	9	0.39	28	1.22	1	0.04	9	0.39	-	-
岡山県	81	0.96	13	0.24	27	0.50	227	4.20	16	0.30	9	0.17	5	0.09	21	0.39	-	-
広島県	168	1.46	15	0.21	33	0.46	223	3.10	22	0.31	31	0.43	9	0.13	50	0.69	10	0.14
山口県	63	0.89	8	0.16	55	1.10	178	3.56	14	0.28	32	0.64	2	0.04	52	1.04	-	-
徳島県	66	1.74	-	-	6	0.26	58	2.52	16	0.70	55	2.39	1	0.04	20	0.87	-	-
香川県	98	2.09	4	0.14	15	0.54	68	2.43	7	0.25	25	0.89	-	-	27	0.96	-	-
愛媛県	53	0.87	5	0.14	21	0.57	131	3.54	13	0.35	69	1.86	5	0.14	36	0.97	1	0.03
高知県	135	2.81	10	0.33	13	0.43	54	1.80	13	0.43	23	0.77	1	0.03	16	0.53	5	0.17
福岡県	709	3.58	61	0.51	69	0.58	421	3.51	90	0.75	209	1.74	1	0.01	112	0.93	8	0.07
佐賀県	66	1.69	3	0.13	12	0.52	24	1.04	5	0.22	96	4.17	7	0.30	30	1.30	-	-
長崎県	191	2.73	4	0.09	15	0.34	92	2.09	15	0.34	113	2.57	4	0.09	24	0.55	1	0.02
熊本県	148	1.85	9	0.19	27	0.56	203	4.23	15	0.31	89	1.85	5	0.10	48	1.00	1	0.02
大分県	158	2.72	4	0.11	38	1.06	219	6.08	21	0.58	37	1.03	1	0.03	38	1.06	1	0.03
宮崎県	105	1.78	10	0.28	34	0.94	206	5.72	43	1.19	93	2.58	7	0.19	42	1.17	4	0.11
鹿児島県	130	1.41	9	0.17	45	0.83	196	3.63	38	0.70	75	1.39	2	0.04	25	0.46	1	0.02
沖縄県	1314	22.66	2	0.06	9	0.26	28	0.82	17	0.50	19	0.56	2	0.06	10	0.29	2	0.06

*髄膜炎菌性髄膜炎は除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2009年36週

	ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎*		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎		RSウイルス感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	3723	1.23	1896	0.63	10	0.01	337	0.50	8	0.02	21	0.05	161	0.35	10	0.02	452	
北海道	121	0.85	78	0.55	1	0.03	14	0.48	-	-	-	-	8	0.35	-	-	38	
青森県	31	0.74	6	0.14	-	-	1	0.09	-	-	-	-	3	0.50	-	-	9	
岩手県	19	0.48	5	0.13	-	-	4	0.29	-	-	-	-	2	0.11	-	-	2	
宮城県	31	0.52	17	0.28	1	0.08	-	-	-	-	-	-	12	1.00	1	0.08	21	
秋田県	63	1.80	6	0.17	-	-	1	0.14	-	-	-	-	2	0.25	-	-	2	
山形県	37	1.23	49	1.63	-	-	7	0.88	-	-	1	0.10	-	-	-	-	1	
福島県	43	0.90	42	0.88	-	-	3	0.25	-	-	1	0.14	9	1.29	-	-	15	
茨城県	34	0.45	23	0.31	-	-	16	0.94	-	-	-	-	4	0.31	-	-	9	
栃木県	27	0.56	15	0.31	-	-	3	0.25	-	-	-	-	6	0.86	-	-	4	
群馬県	40	0.65	33	0.53	-	-	21	1.50	-	-	-	-	6	0.75	-	-	-	
埼玉県	108	0.68	150	0.94	2	0.05	19	0.44	-	-	-	-	6	0.67	4	0.44	8	
千葉県	98	0.75	132	1.01	1	0.03	13	0.39	-	-	2	0.22	-	-	-	-	9	
東京都	169	1.13	77	0.52	1	0.03	12	0.32	-	-	-	-	-	-	-	-	27	
神奈川県	227	1.11	118	0.58	-	-	42	1.02	-	-	1	0.14	-	-	-	-	8	
新潟県	121	2.02	26	0.43	-	-	2	0.22	-	-	-	-	1	0.08	2	0.17	7	
富山県	89	3.07	15	0.52	-	-	1	0.14	-	-	-	-	9	1.80	-	-	-	
石川県	94	3.24	21	0.72	-	-	2	0.29	-	-	-	-	1	0.20	-	-	7	
福井県	92	4.18	52	2.36	-	-	1	0.33	1	0.17	-	-	2	0.33	-	-	1	
山梨県	15	0.63	5	0.21	-	-	-	-	1	0.10	-	-	1	0.10	1	0.10	-	
長野県	189	3.44	6	0.11	-	-	1	0.09	1	0.09	-	-	7	0.64	-	-	4	
岐阜県	34	0.64	23	0.43	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0.40	-	-	8	
静岡県	74	0.86	37	0.43	-	-	10	0.50	-	-	-	-	2	0.20	-	-	3	
愛知県	190	1.05	78	0.43	-	-	3	0.09	-	-	-	-	7	0.44	-	-	11	
三重県	65	1.44	14	0.31	-	-	1	0.08	-	-	-	-	2	0.22	-	-	9	
滋賀県	24	0.77	6	0.19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
京都府	64	0.89	21	0.29	-	-	11	0.65	-	-	-	-	-	-	-	-	4	
大阪府	233	1.21	136	0.71	-	-	8	0.16	-	-	-	-	5	0.36	1	0.07	59	
兵庫県	202	1.58	41	0.32	1	0.03	24	0.69	-	-	1	0.13	-	-	-	-	15	
奈良県	40	1.14	32	0.91	-	-	2	0.22	-	-	1	0.17	1	0.17	-	-	2	
和歌山県	78	2.52	26	0.84	-	-	-	-	1	0.09	-	-	7	0.64	-	-	2	
鳥取県	34	1.79	2	0.11	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0.40	-	-	4	
島根県	36	1.57	6	0.26	-	-	1	0.33	-	-	-	-	3	0.38	-	-	-	
岡山県	32	0.59	5	0.09	-	-	6	0.50	2	0.40	4	0.80	4	0.80	1	0.20	5	
広島県	159	2.21	47	0.65	-	-	35	1.84	-	-	1	0.05	3	0.14	-	-	43	
山口県	110	2.20	17	0.34	-	-	-	-	-	-	-	-	7	0.78	-	-	1	
徳島県	49	2.13	17	0.74	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	
香川県	89	3.18	5	0.18	-	-	2	0.67	-	-	1	0.20	-	-	-	-	7	
愛媛県	52	1.41	22	0.59	-	-	9	1.13	-	-	-	-	5	0.83	-	-	-	
高知県	34	1.13	24	0.80	-	-	3	1.00	-	-	-	-	4	0.57	-	-	2	
福岡県	111	0.93	149	1.24	1	0.04	14	0.54	1	0.07	2	0.13	-	-	-	-	27	
佐賀県	27	1.17	37	1.61	-	-	1	0.25	-	-	-	-	4	0.67	-	-	3	
長崎県	30	0.68	58	1.32	2	0.25	1	0.13	-	-	2	0.17	3	0.25	-	-	10	
熊本県	73	1.52	59	1.23	-	-	16	1.78	-	-	-	-	2	0.13	-	-	19	
大分県	76	2.11	38	1.06	-	-	3	0.60	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮崎県	84	2.33	44	1.22	-	-	16	2.67	-	-	-	-	2	0.29	-	-	4	
鹿児島県	65	1.20	20	0.37	-	-	4	0.57	-	-	-	-	3	0.25	-	-	33	
沖縄県	10	0.29	56	1.65	-	-	4	0.40	1	0.14	4	0.57	14	2.00	-	-	4	

獣医師が届出を行う感染症と対象動物

注 報告数は感染実験等の学術的研究による発生を除く。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2009年36週

	エボラ出血熱		マールブルグ病		ペスト		重症急性呼吸器症候群(SARS)						結核		鳥インフルエンザ(H5N1)		細菌性赤痢	
	サル		サル		プレーリードッグ	イタチアナグマ		タヌキ		ハクビシン		サル		鳥類		サル		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	11
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	7
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別 2009年36週

	ウエストナイル熱		エキノコックス症	
	鳥類		犬	
	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-

感染症週報 第11巻 第36号 2009年9月18日発行
 発行：国立感染症研究所
 厚生労働省健康局結核感染症課
 厚生労働省大臣官房統計情報部
 事務局：国立感染症研究所感染症情報センター
 〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1
 T E L : 03-5285-1111
 F A X : 03-5285-1129
 U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>
 < 国立感染症研究所 感染症情報センター >
<http://www.mhlw.go.jp/>
 < 厚生労働省 >
<http://www.forth.go.jp/>
 < 旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所) >

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。